

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
3-②	MICEの推進等による交流人口の拡大

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
戦略的な情報の発信									
1	総務局	広報課	継続	都市認知度向上事業	ソフト	18,910			45
2	総務局	広報課	拡充	5市2町イベントニュース	ソフト	39,000			45
MICE誘致・開催の推進									
3	都市局	公園整備課	継続	日本平公園整備事業	ハード	319,000		103	107
4	観光交流文化局	観光・国際交流課	新規	日仏自治体交流会議誘致事業	ソフト	4,000			59
5	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	全国大会等開催事業補助金	ソフト	26,975			61
オリンピック・パラリンピック等世界的イベントの活用									
6	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	★オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	ソフト	60,000			67
7	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	ラグビーワールドカップ合宿等誘致事業	ソフト	42,000		104	67
多角的な連携による観光客誘致等の推進									
8	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	地域連携DMO推進事業	ソフト	130,000		105	61
9	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	★清水エスパルス応援機運醸成事業	ソフト	12,000		106	67
10	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	★野球を活かしたまちづくり推進事業	ソフト	12,437		107	68
11	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	YouTuberを活用した英語圏への情報発信事業	ソフト	2,200			60
12	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	市内看板多言語化事業	ソフト	3,400			60
その他									
13	経済局	商業労政課	継続	中心市街地活性化推進事業	ソフト	4,536		108	96
14	経済局	商業労政課	拡充	清水七夕まつり補助金	ソフト	9,730		109	95
15	企画局	企画課	継続	SDGs推進事業	ソフト	60,000		110	49
16	観光交流文化局	観光・国際交流課	新規	体験プログラム情報発信事業	ソフト	1,600			60
17	経済局	産業振興課	継続	地域産業振興ブランド認証事業	ソフト	3,799			92
計						749,587			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 1,177,122

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

日本平公園整備事業 都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2・1/3)	市債	その他	
当初予算額	319,000	137,450	153,600		27,950
前年度予算額	364,000	161,933	184,700	10,000	7,367

目的	名勝日本平の特性を活かし、市民のみならず観光や国際交流など幅広い活動の場を提供する本市のシンボル公園として、日本平公園の建設を行う。
----	--



事業概要	<p>1 実施期間 平成22年度～2029年度</p> <p>2 事業箇所 有度丘陵山頂部</p> <p>3 平成31（2019）年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリー動線整備 46,000千円 ・日本平夢テラスとロープウェイ駐車場を結ぶ経路にシニアや障がい者に優しい移動経路の整備としてスロープを整備する。 ○アクセス道路及び駐車場等整備工事 153,000千円 ・日本平夢テラスのオープン後、多くの観光客が来園し、山頂周辺道路・駐車場で混雑が発生しており、交通環境の改善として、アクセス道路・駐車場を整備する。 ○用地取得関係 102,271千円 ○その他 17,729千円 ・水道施設整備費負担金、除草業務ほか
------	--



日本平夢テラス

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

ラグビーワールドカップ合宿等誘致事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	42,000				42,000
前年度予算額	6,980				6,980

目的

ラグビーワールドカップ出場国受入を通して、本市の魅力を発信するとともに、ラグビーを通じたスポーツ振興と地域活性化のほか、関連イベントの開催により、市民のラグビー熱、認知度の向上を図る。

事業概要

エコパスタジアムで開催されるラグビーワールドカップ2019の試合に併せて、本市で公認チームキャンプを行うイタリア代表チームの受入を県と共同で行う。

- 1 イタリア代表チームキャンプ受入・交流事業 **新規** 36,054千円
 ○イタリア代表公認チームキャンプ
 ○選手、チームスタッフによる市民との交流事業
 【イタリア代表試合開催日程】
 2019年10月4日(金) 18:45 イタリア VS 南アフリカ
- 2 機運醸成等事業 5,946千円
 ○ラグビーワールドカップ2019静岡県開催推進委員会負担金
 (ラグビーワールドカップ2019開幕100日前イベント ほか)
 ○タグラグビー教室 ほか



ラグビーワールドカップ2015イングランド大会の様子



タグラグビー教室

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

地域連携DMO推進事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	130,000	50,000			80,000
前年度予算額	130,000	50,000			80,000

目的

静岡県中部5市2町の広域連携のもと、当地域の「観光目的地」としての目的地想起率を高め、来訪者数を増加させるとともに、戦略に沿った観光商品の開発を地域事業者とともに進め、観光消費や宿泊の拡大を図る。

事業概要

静岡県中部・志太榛原地域（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）の枠組みで、（公財）するが企画観光局を中心に次の事業を実施する。

- 1 Learn（学び）戦略に基づく商品開発の拡大
 - 基軸となる教育体験プログラムの開発
 - ガイドラインに基づく商品開発支援
 - メディアファームトリップの実施
- 2 Tea（お茶）、Sea（海）戦略に基づくプロモーション
 - お茶と海をコンセプトとした集客イベントの開催
 - WEB、SNSを活用したプロモーション
- 3 市場調査・効果測定
 - WEBアンケート調査、分析

※DMO（Destination Management/Marketing Organization）とは地域の多様な関係者との連携と、マーケティングに基づく戦略的な観光地域づくりを行う舵取り役



Learn（学び）

子どもの成長に繋がる
教育体験プログラム開発



Tea（お茶）

お茶のかき氷を「茶氷」と
名付けてプロモーション



Sea（海）

圏域の海産資源認知度向上の
ためのイベント開催

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

清水エスパルス応援機運醸成事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,000				12,000
前年度予算額	12,000				12,000

目的

本市の「心の公共財」である清水エスパルスに対する市民の応援機運を醸成し、地域の賑わい創出やコミュニティ機能の向上、地域への愛着醸成等を図る。

事業概要

- 1 清水エスパルスパブリックビューイング開催事業 9,000千円
 ○概要：エスパルスアウェイゲーム5試合のパブリックビューイングを開催する。
 ○時期：2019シーズン
 ○場所：駿府城公園紅葉山庭園前広場、清水駅東口広場、東静岡駅北口広場 ほか（予定）
 ○対象：どなたでも（入場無料）
- 2 清水エスパルス選手等派遣事業 2,500千円
 ○概要：エスパルスの選手・マスコットなどを、地域のイベントや学校行事等に派遣する。
- 3 清水エスパルス応援啓発品作成事業 500千円
 ○概要：エスパルス応援機運を醸成する啓発品の作成などを実施する。



【 パブリックビューイングの様子 】
(H30.12.1 東静岡駅北口広場)



【 マスコットの地域イベント派遣 】
(H30.11.17 富士山コスプレ世界大会)

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

野球を活かしたまちづくり推進事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,437				12,437
前年度予算額	14,102				14,102

目的

野球大会及び各種イベントの開催により、本市のプレゼンス向上及びスポーツツーリズムの推進、市民の野球熱の醸成を図る。
また、プロ野球地元球団創設構想の推進に向け、関係者との連絡調整等を図る。

事業概要

- 第1回静岡野球ウィーク開催費助成 **新規** 5,000千円
○概要：①文部科学大臣杯第11回全日本少年春季軟式野球大会IN静岡（中学生軟式野球の全国大会）
②静岡野球まつり（小・中学生野球教室等）ほか
○日時：2020年3月20日（金・祝）～24日（火）
○会場：草薙総合運動場硬式野球場、清水庵原球場 ほか
- 大学野球オータムフレッシュリーグin静岡開催費助成 2,000千円
○概要：東京六大学野球リーグ加盟大学や地元大学の次世代主力選手による試合を開催するとともに、地元高校との交流戦、幼児野球教室などを実施する。
○日時：2019年11月頃（予定）
○会場：草薙総合運動場硬式野球場、清水庵原球場ほか（予定）
- 他自治体・関係者等との連絡調整等 5,437千円
○概要：野球関係者や他自治体との情報共有・連絡調整や、有識者への相談、先進事例の視察などを行う。



(全日本少年春季軟式野球大会IN静岡)



(小中学生野球教室)



(大学野球オータムフレッシュリーグ)



(大学生による幼児野球教室)

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

中心市街地活性化推進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,536				4,536
前年度予算額	4,600				4,600

目的	本市中心市街地の情報発信ツールとして無料Wi-Fiの面的整備及び情報発信ブラウザ等により、インターネット環境の提供、店舗情報の提供する等、集客・交流機能・回遊性の向上を図り、来街者の満足度向上・中心市街地活性化を目指す。
----	--



事業概要	<p>平成29年度に整備された無料Wi-Fi設備及び情報発信アプリの運用に係る経費の助成</p> <p>1 実施団体 I Loveしずおか協議会、商店街振興組合静岡呉服町名店街、呉六名店街、商店街振興組合静岡紺屋町名店街、商店街振興組合七間町名店街、両替町二丁目発展会、けやき通り発展会</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ストリートWi-Fi環境維持管理事業 3,960千円 商店街や公園などの公共空間においてインターネットに接続できる無線LAN環境の運用による集客力の向上</p> <p>○地域情報発信システム運用事業 576千円 Wi-Fi接続をした際に表示されるポータルサイト（静岡おまちNAVI）運用によるお店案内やまちなかの情報等の発信</p>
------	--



アクセスポイントのカバー範囲



情報発信ツール「静岡おまちNAVI」

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

清水七夕まつり補助金

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,730				9,730
前年度予算額	7,150				7,150

目的	地域に根付いた60年以上の歴史あるイベントであり、市内外から約50万人の来場者がいる「清水七夕まつり」の開催を支援することで、清水地区中心市街地における賑わいの創出及び商業の活性化を図ること。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業名称 第67回清水七夕まつり 2 開催日程 平成31(2019)年7月4日(木)～7日(日) 3 開催場所 清水駅前江尻口よってこ商店街、清水駅前銀座商店街、清水中央銀座商店街、清水銀座商店街 4 内 容 拡充 <ol style="list-style-type: none"> (1) 商店主や市民、近隣の小学校等が作る七夕飾りの設置 (2) 商店街での露店の出店 (3) 竹飾りコンクール (4) ステージイベント(まるちゃん静岡音頭コンテストほか) <p>清水港開港120周年連携事業として事業内容を拡充</p> <p>【拡充のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 清水区だけでなく葵・駿河区でも竹飾り製作講習会を開催し、竹飾り出展者を広く募集 ■ JR清水駅東口広場での市民参加型の企画の実施や、来場者の増加に対応するためのトイレやゴミ対策の充実
------	---



清水七夕まつりの様子



竹飾り製作講習会の様子

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

SDGs 推進事業 企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	60,000				60,000
前年度予算額	42,000				42,000

目的	「世界に輝く静岡」を実現し、持続的に発展するまちとするため、国から認証を受けている「SDGs未来都市」として普及啓発に努めるとともに、様々なステークホルダーとの連携強化を図る。
----	--



事業概要	<p>SDGsに関する普及啓発及び各種情報発信を行い、「世界に輝く静岡」の実現を目指す。</p> <p>1 普及啓発 58,520千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (仮称) TGC しずおか 2020 for SDGs ○ TGCしずおか連携事業 TGCと連携した普及啓発イベントの開催 ○ 優良企業表彰制度 持続可能な発展に寄与する取組を行う企業・団体等の表彰 ○ その他 各種普及啓発事業の実施 <p>2 その他 1,480千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種調整旅費、消耗品など
------	--



SDGs推進 TGC しずおか 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION (2019.1.12 ツインメッセ静岡北館)

SDGs COLLECTION supported by TGC しずおか 2019(2019.1.12 ツインメッセ静岡南館)

(C)SDGs推進 TGC しずおか 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
3-③	戦略産業への支援・育成

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
戦略産業への集中的な支援・育成									
1	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	海洋産業クラスター創造事業	ソフト	18,300	②海洋文化	114	89
2	経済局	産業振興課	継続	ロジスティクス産業立地推進事業	ソフト	1,754			93
3	経済局	産業振興課	拡充	ものづくり教育推進事業	ソフト	3,800			93
4	経済局	産業政策課	新規	★清水港後背地における地域経済の活性化検討 事業	ソフト	15,000		115	90
5	経済局	産業政策課	拡充	★中小企業の課題解決による成長の促進	ソフト	15,350		116	90 91
6	総務局 経済局	東京事務所 産業振興課	拡充	★首都圏プロモーション推進事業 ★「地域経済牽引事業」の首都圏プロモーション 支援事業	ソフト	6,303		117	45 92
地域を支える企業への支援									
7	経済局	海洋文化都市 推進本部 商業労政課	拡充	★外国人観光客誘致促進事業(インバウンド対 策)	ソフト	10,161		65	89 95
8	経済局	商業労政課	継続	働き方改革の実現に向けた環境整備	ソフト	7,500		118	95
9	経済局	産業政策課	継続	中小企業融資制度等利子及び信用保証料補給事 業	ソフト	250,000			92
10	保健福祉長寿局 経済局	福祉総務課 (高齢者福祉課) 産業振興課 商業労政課	拡充	★高齢者就労促進事業 ★企業OB等の活用による中小企業支援	ソフト	43,910	④健康長寿のまち	137	72 93 95
11	経済局	産業政策課	拡充	★中小企業の課題解決による成長の促進	ソフト	15,350		116	90 91
企業立地の推進									
12	経済局	産業振興課	継続	企業立地用地開発推進事業	ソフト	9,606		119	92
13	経済局	産業振興課	継続	企業立地促進事業費助成	ソフト	492,000		120	93
大谷・小鹿地区のまちづくり推進									
14	都市局	新インターチェン ジ周辺整備課	継続	大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	ハード	1,045,198		121	106
産業に必要なアクセス道路の整備									
15	建設局	道路計画課	継続	★港湾、ICアクセス道路整備事業((主)井川湖御 幸線ほか4路線)	ハード	1,606,000		122 123	113
16	建設局	道路計画課	継続	★国道1号静岡バイパス整備促進事業	ハード	2,115,000		122 123	113
17	建設局	道路計画課	継続	★地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討事業	ソフト	6,900		122 123	113

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
その他									
18	都市局	都市計画課	新規	連続立体交差検討事業	ソフト	3,400			104
19	経済局	産業政策課	継続	アンテナショップ開設事業	ソフト	259,500		124	91
20	経済局	産業振興課	新規	伝統工芸技術アーカイブス事業	ソフト	986			94
21	建設局	道路計画課	継続	道の駅整備事業	ソフト	15,000		125	113
22	経済局	農地整備課	拡充	県営土地改良事業負担金 (県単独農業農村事業調査)	ソフト	14,000		126	98
23	経済局	農地整備課	新規	農道等新設改良事業 (畑総事業創設非農用地可能性調査、小規模農 業基盤整備検討調査)	ソフト	7,000		127	98
24	経済局	農業政策課	新規	静岡市ががんばる新農業人支援事業	ソフト	1,000		128	96
計						5,963,018			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 5,066,772

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

海洋産業クラスター創造事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	18,300	8,750			9,550
前年度予算額	61,500	30,000			30,000

目的	本市独自の駿河湾という「海洋資源」、大学等研究機関の「知見」、清水港とともに発展してきた造船をはじめとする機械金属製造業や水産加工業等の関連産業の「技術」を組み合わせることにより、海洋関連産業における新事業創出・事業高度化を推進するとともに、研究機能の強化・集積を図る。
----	---

事業概要	<p>推進主体である「静岡市海洋産業クラスター協議会」が実施する各種事業に対し、負担金を支出する。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業（ウェブサイトの運営、シンポジウムの開催等） ・産学マッチング支援事業（アドバイザー4名の設置） ・人材育成事業（海洋産業人材育成セミナーの開催等） ・事業化研究事業 事業化研究プロジェクトの組成・実施、国際展示会への出展等
------	---



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【新規】

清水港後背地における地域経済の活性化検討事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	15,000				15,000
前年度予算額					

目的	<p>中部横断道などの交通インフラの整備やそれに伴う内陸部との人的・物的交流の拡大、清水港の物流環境の充実、クルーズ船による観光客の増大といった動きを、地域の新たな魅力づくりのチャンスと捉え、交通の結節点となる清水港後背地の活用による地域経済の活性化を図る施策を検討するための調査を行う。</p>
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 現状の把握 <ul style="list-style-type: none"> 貨物の動向調査、流通状況調査 清水港後背地の利用を考えている企業のリサーチ クルーズ船乗船者などの観光客の動向やニーズの調査 可能性調査 <ul style="list-style-type: none"> 輸出入拡大の可能性のある品目（工業製品、農産物等）、取引相手国、企業ニーズの把握 内陸部からの農産物供給圏拡大の可能性調査 海外への日本の食材の輸出拡大の可能性調査 今後求められる地域振興施策と実現に向けた課題の整理
------	---



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

中小企業の課題解決による成長の促進

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	15,350				15,350
前年度予算額	9,800				9,800

目的	官民連携による中小企業へ向けた集中的な支援により、生産性の向上、経営力や販路の強化など中小企業が抱える課題を解決し、中小企業の成長を促していく。
----	--



事業概要	<p>1 中小企業アクセラレーション支援事業 新規 4,950千円 地域経済をけん引する企業の輩出に向け、成長意欲のある中小企業に対し、個社の経営課題に応じた支援体制を構築し、集中・徹底的な伴走支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なメンタリングや個別指導 ・大企業の資金や販路等の資源活用による事業連携 等 <p>2 IT導入による生産性向上支援事業 新規 3,600千円 中小企業の実業性向上を図るため、IT導入に向けたワンストップ相談窓口を設置</p> <p>3 事業承継促進事業 6,800千円 中小企業が円滑に事業承継を行うことができるよう支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談及び専門家の派遣 ・事業承継に関する周知・啓発
------	--



事業承継セミナー

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

首都圏シティプロモーション推進事業
「地域経済牽引事業」の首都圏プロモーション支援事業

総務局
経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,303				6,303
前年度予算額	220				220

目的	地域の特性を活かし、付加価値の高い事業に取り組む「地域未来牽引企業」や「地域経済牽引事業計画」の承認を受けた企業などを対象に、首都圏プロモーションやビジネスマッチングの機会提供などの新たなニーズに対応した支援を行うとともに、本市のプロモーション活動を行う。
----	--



事業概要	<p>1 首都圏支援体制の構築 (独) 中小企業基盤整備機構、東京中小企業投資育成(株)などの支援機関と連携した「首都圏支援協議会」を設置し、市内企業の首都圏での活動をサポート</p> <p>2 コミュニティ型シェアオフィス「WeWork」を活用したプロモーション・ビジネスマッチングイベントの開催 新規 3,244千円</p> <p>○WeWorkのメンバー企業とのネットワーク構築 ○市内企業の製品・サービスを紹介する情報発信・イベントの開催</p> <p>3 首都圏におけるプロモーション活動 拡充 3,059千円</p> <p>○WeWork各拠点を活用した地域資源等のPRイベントの実施</p>
	<p>WeWorkとは・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界27か国に、425カ所のシェアオフィスを展開。メンバーは40万人以上(2019年1月現在) ・日本には平成30年2月に進出。都内に10拠点を開設。 ・大手・中小・ベンチャー企業、起業家など多様な企業・人材がメンバーとなり、ビジネスネット



本市の魅力伝え、企業の取組と、市内企業の商品をプロモーション

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

働き方改革の実現に向けた環境整備

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	7,500	1,750			5,750
前年度予算額	9,000	3,750			5,250

目的	多様な属性や価値観を持った人材を活かし、その能力を最大限に発揮できる環境の実現による「生産性の向上」を目指すとともに、これに伴う雇用の促進を図る。
----	---

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> ダイバーシティ経営推進セミナー開催事業 2,730千円 ○企業向けセミナーの開催 表彰受賞企業等の取組の見える化 770千円 ○平成31(2019)年度表彰受賞企業等の取組取材・既存サイト特集ページの更新 働き方改革の実現ロールモデルの構築・発信 4,000千円 ○市内企業への専門家派遣による業種別、取組内容別など各ケースに応じた働き方改革ロールモデルの構築及び取組事例の発信
------	---



ダイバーシティ経営推進セミナーの様子



企業の取組み見える化サイト TOPページ



表彰式の様子



表彰受賞企業の取組紹介冊子

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

企業立地用地開発推進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,606				9,606
前年度予算額	17,000				17,000

目的	企業立地用地の不足を解消するために、市内における開発適地の開発実現化に向けた検討を行うとともに、企業立地用地のプロモーションを実施していく。
----	--



事業概要	1 企業立地用地プロモーション業務 606千円 ○企業向け用地紹介パンフレット作成 ○進出可能性のある企業への用地情報の発信
	2 大規模企業立地候補地（竜南地区）の開発実現化検討業務 9,000千円 ○開発想定区域の検討 ○地権者同意を得るための説明・交渉 ○概略設計の精査等
※企業が立地しやすい条件を備えた候補地の開発を支援していくために、地域未来投資促進法に基づく「静岡市地域基本計画」を活用した開発許可基準の見直し等の取組を進めていく。	

年度		H29	H30	H31～
大規模企業立地候補地の開発	竜南地区	地権者アンケート実施 概略設計・概算事業費算出 地区計画素案作成	地権者へのアンケート結果のお知らせ 地権者説明会 地権者の個別説明 開発イメージの検討 地元からの意見聴取 企業への進出意向聞き取り	開発に向けた地権者交渉 設計精査・事業費算出 開発イメージの具体化 地元関係者との調整 進出意向の強い企業絞込
	恩田原・片山地区	産業集積方針に沿った企業立地の働きかけ 土地管理組織設立に向けた支援 組合設立	換地設計	土地管理組織設立 創出される用地への段階的な企業立地 造成工事着手
企業が立地しやすい条件を備えた候補地の開発を可能にする制度整備		開発基準見直し検討 候補地の絞込や地権者アンケートの実施	基準化に向けた関係課との協議	新たな開発基準整備 候補地の開発検討

用地確保に向けたロードマップ

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

企業立地促進事業費助成 経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	492,000	355			491,645
前年度予算額	492,000	355			491,645

目的	市内への企業の進出及び市内における企業の定着を促進し、地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図る。
----	--

事業概要	<p>工場等の設置や事務所の賃借を行った企業等に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場等設置事業 (補助対象：用地取得費、設備投資費、新規雇用) ・ 事務所賃借事業 (補助対象：建物賃借料) ・ 用地供給（民間団地開発）促進事業 (補助対象：共用施設整備に係る費用) ・ 本社機能移転・拡充事業 (補助対象：用地取得費、設備投資費、建物賃借料、新規雇用等) ※東京23区からの「移転型事業」に限り、建物賃借料及び新規雇用助成を上乗せ
------	--



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

道路ネットワークの整備

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3, 1/2, 5.5/10, 3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	3,727,900	1,144,500	2,576,900	0	6,500
前年度予算額	3,460,240	1,402,240	2,042,200	0	15,800

目的	新東名高速道路、中部横断自動車道、(国)1号静岡バイパス、清水港などと連携した道路ネットワークを構築し、産業や観光を活性化するとともに、市内の緊急輸送路等の防災機能を向上させる。
----	---

事業概要	<p>1 港湾、ICアクセス道路整備 1,606,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (国) 150号(静岡バイパス、久能拡幅) ○ (主) 井川湖御幸線(下～松富上組) ○ (主) 清水富士宮線(庵原～伊佐布) ○ (主) 山脇大谷線(小鹿～宮川) ○ (都) 静岡駅賤機線 <p>2 (国) 1号静岡バイパスの整備促進 2,115,000千円 (国直轄道路事業負担金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (国) 1号静岡バイパス清水立体事業 <p>3 地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討 6,900千円</p> <p>※ 上記以外の国県道・市道の整備 5,716,824千円(事業費に含まない)</p>
------	--

【道路ネットワークの構築】

① 新東名高速道路及び中部横断自動車道とのアクセス

- ◆(主)井川湖御幸線(下～松富上組)
新静岡IC～静岡市街地の現道拡幅(現状2車線⇒4車線)
- ◆(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)
清水いはらIC～(国)1号静岡バイパス間のバイパス整備

② (国)1号静岡バイパスの立体化

清水区横砂東町～八坂西町を結ぶ延長2.4kmの高架化

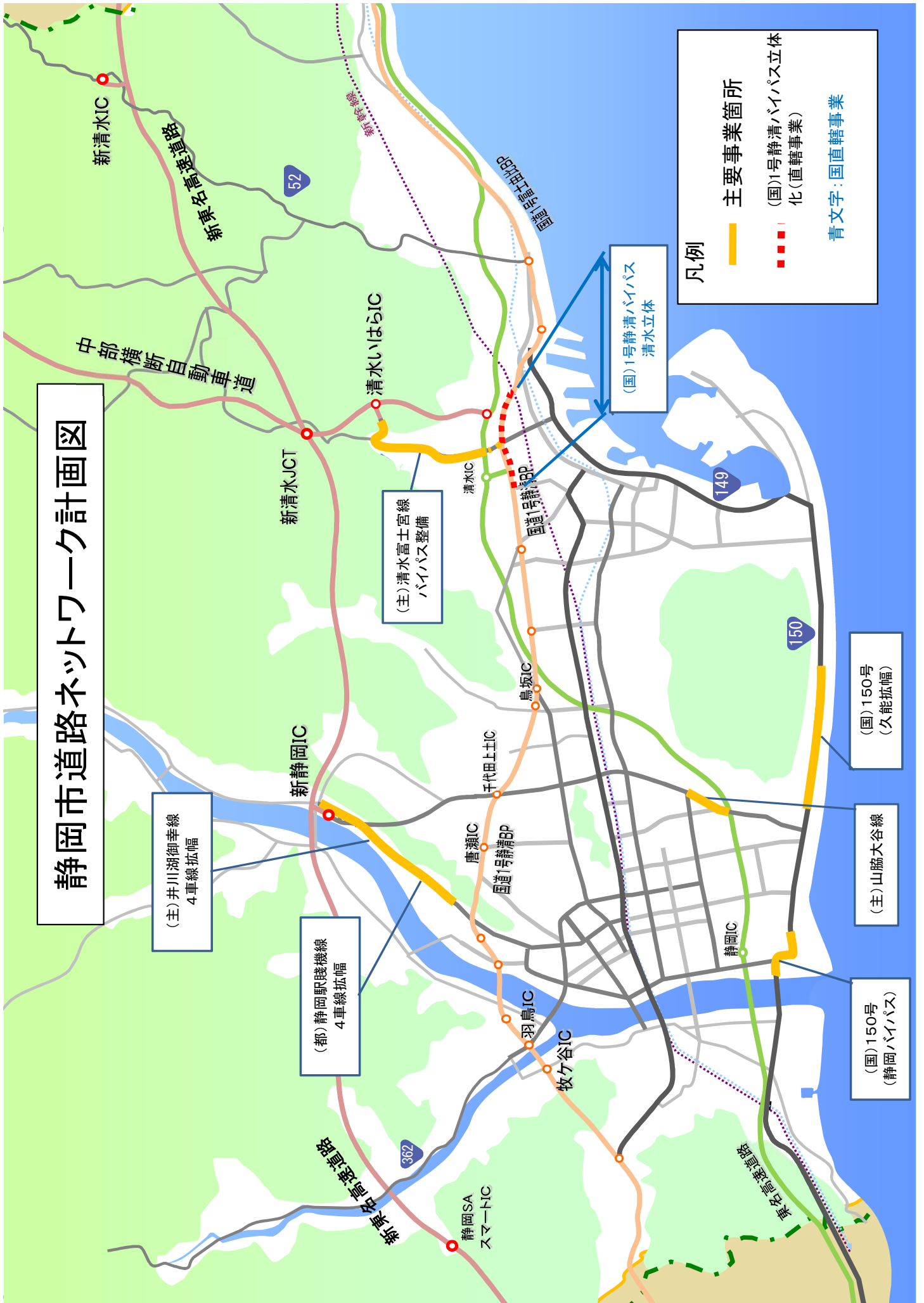


(国)150号(久能拡幅)



(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)

静岡市道路ネットワーク計画図



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

アンテナショップ開設事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	259,500				259,500
前年度予算額	188,000				188,000

目的	しずおか中部連携中枢都市圏事業の一つであるアンテナショップを開設し、お茶、水産加工品等のPRなど、首都圏での情報発信を行い、地場製品の販路を拡大する。
----	---

事業概要	<p>開設にあたっての店舗の賃借、改装等を行う。</p> <p>○想定物件の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積 50～60坪程度（予定） ・店舗機能 物販、軽飲食、観光情報イベント（対面販売）等 <p>○想定オープン時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31（2019）年度内を想定
------	--



アンテナショップの様子(イメージ)「写真:長野県アンテナショップ」

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

道の駅整備事業

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	15,000	7,500			7,500
前年度予算額	15,000				15,000

目的	道路休憩機能の強化による交通環境の向上とともに、観光情報等の発信、大規模災害に備えた防災機能、地域の特色を活かした地域振興機能を併せた地方創生に資する新たな道の駅を整備することで、道の駅を核とした活力ある地域を創造する。
----	--

事業概要	<p>本市全域を対象に、新たな道の駅整備の必要性や果たすべき役割、整備にあたり指針となる基本方針等を基本構想としてとりまとめる。民間活力導入の可能性などの各種調査により候補地を選定したうえで、基本計画を策定し、新たな道の駅を整備する。</p> <p>○平成31（2019）年度の事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅整備の事業化検討と合わせたPFI導入可能性等の調査
------	---

【新たな道の駅の目指すイメージ】



資料：国土交通省ホームページより

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

県営土地改良事業負担金（県単独農業農村事業調査）

経済局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,000				14,000
前年度予算額	17,000				17,000

目的	調査対象地区の農地の現状を調査し、農業の持続性の向上を目指す畑地帯総合整備事業の可能性を探り、地域の実情に合わせた生産基盤の整備構想の策定を行う。
----	---



事業概要	事業可能性調査の実施	
	<ul style="list-style-type: none"> ○継続地区 11,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・池ノ沢 ・東豊田 ・安東用水 ・オクシズ ・三保 ・麻機 ・今泉 ○新規地区 3,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・池ノ沢（南側） 新規 ・横砂（広瀬含む） 新規 	



畑総事業のイメージ(庵原地区)

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【新規】

農道等新設改良事業

(畑総事業創設非農用地可能性調査・小規模農業基盤整備検討調査)

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,000				7,000
前年度予算額					

目的	農業の生産性向上のため、良質な農地の整備に向け、畑地帯総合整備事業の採択に向けた調査や小規模な急傾斜地等での基盤整備方法の検討を行う。
----	---



事業概要	<p>1 畑総事業創設非農用地可能性調査 新規 4,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域の土地利用条件の調査 ・周辺地区における課題の整理 ・非農用地取得事業(者)の調査 ・非農用地の概算工事費算出 等 <p>2 小規模農業基盤整備検討調査 新規 3,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援工法の試算 ・同類他地域の支援策の調査取りまとめ
------	--



耕作条件が悪い農地のイメージ

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【新規】

静岡市がんばる新農業人支援事業

経済局

(千円)

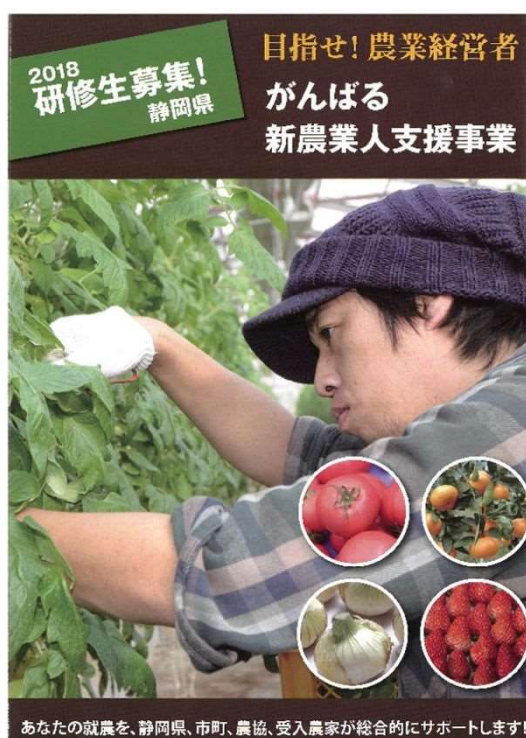
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,000				1,000
前年度予算額					

目的	農業の担い手の高齢化や減少に対処し、新たな担い手の育成・確保を図るため、実践的な研修を実施する地域受入連絡会を支援し、着実に産地、地域の後継者を育成・確保する。
----	--



事業概要	<p>新規就農をするための研修体制を創出するための経費として、45歳以上64歳未満の研修生1名あたり500千円／年の補助金を事業主体である地域受入連絡会に交付する。</p> <p>※静岡県事業は45歳未満が対象。</p> <p>【事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○募集定員 4名 (内訳) 市事業枠 2名 (研修生が45歳以上64歳未満) 県事業枠 2名 (研修生が45歳未満) ○対象作物 自然薯・枝豆 ○補助金交付先 JA静岡市地域受入連絡会 JAしみず地域受入連絡会
------	---

静岡県事業パンフレット



健康都市

<プロジェクトの目標>

子どもから高齢者まで、
一生涯を通じ、住み慣れた地域で
健康的に長生きできる
まちづくりの推進



<成果目標>

「子育てしやすいまち」だと思える市民の割合
(市民意識調査)

そう思う 53%(H26) → 67%(H34)【50%(H29)】

「障がい者や高齢者にやさしいまち」だと思っ
ている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 42%(H27) → 70%(H34)【38%(H29)】

①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 ('自宅ですっと'プロジェクト)

保健福祉長寿局、市民局、観光交流文化局、
子ども未来局、経済局、都市局

実現すべき将来像

- ライフステージに合わせた市民が主体の健康づくり事業の推進と、それを支援する保健と医療体制の充実
- 超高齢社会を見据えた人材の養成や生きがいの創出

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 在宅医療・介護連携推進事業は、新たに8地区で実施し、専門職同士や地域住民との顔の見える関係が構築できた。
- 健康長寿のまち専用ウェブサイト「まるけあ」を開設した。
- 認知症カフェは市内25か所を認証、フレイル事業は5か所で実施、地域包括支援センターは21か所に職員を追加配置した。
- 健康度見える化事業では、健診未受診者に受診勧奨した結果、受診率が大幅に向上した。(目標:5%→実績:10.62%)

平成30年度の主な事業

地域包括ケアシステムの構築

健康寿命の延伸



がん末期在宅介護支援事業助成
(保健福祉長寿局)
【4,000千円】



地域包括支援センター
運営事業(保健福祉長寿局)
【913,250千円】



生涯現役!
高齢者就労促進事業
(保健福祉長寿局)
【4,570千円】



徘徊認知症高齢者の
搜索模擬訓練モデル事業
(保健福祉長寿局)
【1,000千円】



生涯活躍のまち静岡
(CCRC)推進事業
(保健福祉長寿局)
【19,800千円】



元気いきいき!
シニアサポーター事業
(保健福祉長寿局)
【73,477千円】

平成31年度の取組

- 「自宅ですっと」プロジェクトによる、静岡型地域包括ケアシステムの構築及び健康寿命の延伸に向けた取組みをさらに推進する。
- ・フレイル予防プロジェクトでは、フレイルチェックによる健康度見える化を行う。歯科保健は、「口腔保健支援センター」を設置するなど、オール静岡市で歯科保健分野を強化する。
- ・認知症対策は、予防から認知症ケアまでの総合的な支援体制の整備に向け調査・研究を行う。成年後見制度利用促進のため、弁護士等専門職との連携による相談事業と市民後見人の養成研修を実施する。
- ・健康長寿のモデル地区に地域多世代交流型住宅を整備するため、民間事業者の公募、選定等、2020年度の開設に向けた準備を行う。
- ・がんの早期発見を目指し受診勧奨の充実や、末期がん患者の在宅介護サービス費用の一部を助成する。
- ・国の制度を活用し、就労支援窓口の設置・インターンシップ等により、高齢者就労促進に向けたマッチング支援や新たな雇用創出を目指す。

地域包括ケアシステムの構築

健康寿命の延伸



がん対策関連事業
(保健福祉長寿局)
【752,130千円】



成年後見制度利用促進事業、
認知症対策事業
(保健福祉長寿局)
【50,453千円】



高齢者就労促進事業
(保健福祉長寿局)
【30,000千円】



フレイル予防プロジェクト、
歯科保健事業
(保健福祉長寿局)
【6,759千円】



生涯活躍のまち静岡
(CCRC)推進事業
(保健福祉長寿局)
【18,809千円】



元気いきいき!
シニアサポーター事業
(保健福祉長寿局)
【73,477千円】

② 静岡型子ども・子育て支援の推進

子ども未来局、市民局、保健福祉長寿局、経済局、教育局

実現すべき将来像

- 子ども本位の視点に立ち、すべての子どもが健やかに成長することができるように社会全体で支えていくまちの実現
- 人とのつながりを大切にし、すすんで社会に参画する子ども・若者を育むまちの実現

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 保育所等の整備の実施等により、教育・保育の受け皿(1512人分)を確保し、待機児童が解消された。(40人→0人)
- 放課後児童クラブの整備により、13クラブ、450人分の受け皿を確保するとともに、78クラブ中72クラブで19時までの開所時間延長を実施した。また、新たに8校を加えた33校で放課後子ども教室を実施し、総合的な放課後子ども対策を推進した。
- 特別支援教育の充実のため、平成29年5月に全国初の巡回指導に重点をおいた肢体不自由単独の通級指導教室を開設した。

平成30年度の主な事業

妊娠・出産支援



産婦健康診査事業、産後ケア、ママケアデイ、不妊治療費助成(子ども未来局)【250,210千円】

乳幼児期の支援



教育・保育施設の整備、保育士確保対策、発達早期支援(子ども未来局・保健福祉長寿局)【509,819千円】

放課後子ども対策



放課後児童クラブの整備運営、放課後子ども教室推進事業(子ども未来局、教育局)【1,313,210千円】

結婚・若者支援



エンジェルプロジェクト、結婚新生活応援事業、ひきこもり対策(子ども未来局)【37,661千円】

教育力の向上



小中一貫教育の推進(教育局)【22,698千円】、部活動指導員配置事業(教育局)【47,884千円】

子どもの貧困対策



学習意欲向上、学習・生活の支援、スクールソーシャルワーカー活用(保健福祉長寿局・子ども未来局・教育局)【66,857千円】

平成31年度の取組

- 放課後児童クラブの整備により、13クラブ、475人分の受け皿を確保するほか、発達が気になる子の早期発見・早期支援に向け、アセスメント及び二次支援の場を6箇所から12箇所に拡充する。
- 「たくましくなやかな子どもたち」の実現に向け、静岡型小中一貫教育の推進や小学校図書室の充実に取り組むほか、小学校の普通教室から順にエアコンを設置して、快適な教育環境を提供する。

妊娠・出産支援



産婦健康診査事業、産後ケア、ママケアデイ、不妊治療費助成(子ども未来局)【300,897千円】

乳幼児期の支援



教育・保育施設の整備、保育の質の向上に向けた人材育成、発達早期支援(子ども未来局・保健福祉長寿局)【855,630千円】

放課後子ども対策



放課後児童クラブの整備運営、放課後子ども教室推進事業(子ども未来局、教育局)【1,512,904千円】

結婚・若者支援



エンジェルプロジェクト、結婚新生活応援事業、不登校・ひきこもり対策、若者の地域参画推進(子ども未来局、教育局)【46,395千円】

教育力の向上



小中一貫教育の推進(教育局)【181,493千円】、学校図書室の充実(教育局)【64,510千円】、エアコン設置実施設計(中学校)【35,459千円】

子どもの貧困対策



学習意欲向上、学習・生活の支援、スクールソーシャルワーカー活用(保健福祉長寿局・子ども未来局・教育局)【49,174千円】

③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

都市局、市民局、子ども未来局、建設局、教育局

実現すべき将来像

- 中心市街地での回遊性の向上と自転車の利用環境の改善やルール・マナーの向上を図ることにより、「自転車を利用しやすいまち」と「歩いて楽しいまち」の実現を推進
- 楽しく歩いたり自転車に乗ることで「活動量の増加」や「気分のリフレッシュ」につながり、健康に過ごすことができるまち

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 「サイクルフェスin東静岡」を開催し、自転車の「楽しさ」や「安全運転の大切さ」を伝えることができた。
- 自転車走行空間ネットワーク事業において目標値(整備率57%)を達成した。
- バリアフリー基本構想に位置付けた生活関連経路等の歩道を整備し、安全性及び利便性の向上を図り、目標値(バリアフリー化率46%)を達成している。

平成30年度の主な事業

自転車を利用しやすいまち



交通安全施設整備事業(自転車走行空間ネットワーク整備事業)(建設局)【289,700千円】



幼少期からの交通安全教育推進事業(都市局・市民局・観光交流文化局・子ども未来局・教育局)【18,790千円】

歩いて楽しいまち



追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業(都市局)【114,051千円】



駿府城公園周辺ランニング等環境づくり事業(観光交流文化局)【16,191千円】

平成31年度の取組

- 自転車を利用しやすいまちの実現に向け、自転車の楽しさや安心安全をテーマとした体験型イベント「サイクルフェス」を池田東静岡公園で開催し、市民に向けて自転車のまちづくりの周知啓発を推進する。また、幼児期から段階的かつ体系的な自転車安全教育を推進するため、キックバイクを利用した自転車安全教室などを実施する。
- 歩いて楽しいまちづくりの実現に向け、追手町音羽町線では、水辺デッキと一体的に活用できる道路空間等の整備を行う。

自転車を利用しやすいまち



交通安全施設整備事業(自転車走行空間ネットワーク整備事業)(建設局)【261,000千円】



幼少期からの交通安全教育推進事業(市民局・子ども未来局・都市局・教育局)【14,110千円】

歩いて楽しいまち



追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業(都市局・建設局)【179,700千円】



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-①	健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築(「自宅ですっと」プロジェクト)

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
地域包括ケアシステムの構築(在宅医療・介護の推進)									
1	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	拡充	「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業	ソフト	4,110	④健康長寿のまち	134	144
2	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	拡充	★地域包括支援センター運営事業 (地域ケア会議推進事業)	ソフト	2,996	④健康長寿のまち	135	144
3	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	継続	医療・介護・福祉スーパーバイザー人材配置事業	ソフト	13,000			144
4	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	継続	在宅医等養成研修事業	ソフト	1,356			144
5	保健福祉長寿局	介護保険課	拡充	介護人材確保推進事業費	ソフト	2,479			76
地域包括ケアシステムの構築(情報発信・地域支援体制の整備)									
6	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	拡充	★地域包括支援センター運営事業 (地域包括支援センター運営事業)	ソフト	899,980	④健康長寿のまち	135	144
7	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	拡充	静岡型地域包括ケアシステム情報発信事業	ソフト	3,403			144
8	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	継続	生活支援体制整備事業	ソフト	118,363		136	144
地域包括ケアシステムの構築(社会参加・介護予防の推進)									
9	保健福祉長寿局 経済局	福祉総務課 (高齢者福祉課) 産業振興課 商業労政課	拡充	★高齢者就労促進事業 ★企業OB等の活用による中小企業支援	ソフト	43,910	④健康長寿のまち	137	72 93 95
10	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	★生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	18,809	④健康長寿のまち	138	72
11	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	拡充	市民参加型フレイル予防プロジェクト	ソフト	1,980	④健康長寿のまち	139	144
12	保健福祉長寿局	地域リハビリテーション推進センター	拡充	「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業 (しぞ〜かでん体操)	ソフト	6,454	④健康長寿のまち	140	144
13	保健福祉長寿局	介護保険課	継続	元気いきいき！シニアサポーター事業	ソフト	73,233		141	144
14	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	継続	S型デイサービス事業	ソフト	70,217			144
15	保健福祉長寿局	高齢者福祉課	継続	しずおかハッピーシニアライフ事業費	ソフト	830			75
地域包括ケアシステムの構築(認知症施策の推進)									
16	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	新規	認知症予防のための体制整備事業	ソフト	10,000	④健康長寿のまち	142	144
17	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	継続	徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練事業	ソフト	639		143	144
19	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	拡充	認知症初期集中支援推進事業	ソフト	13,277			144
20	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	拡充	認知症地域支援・ケア向上事業	ソフト	1,059			144

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
21	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症疾患医療センター運営事業	ソフト	10,407			72
22	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症高齢者見守りシステム事業	ソフト	1,626			144
23	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症カフェ普及促進事業	ソフト	1,000			144
地域包括ケアシステムの構築(住まい)									
24	都市局	住宅政策課	継続	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	ソフト	115,158			110
健康寿命の延伸									
25	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	歯科保健推進事業	ソフト	7,546	④健康長寿のまち	144	73
26	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	健康度見える化事業	ソフト	17,895			138
27	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	糖尿病性腎症重症化予防事業	ソフト	3,541			138
その他									
28	保健福祉長寿局	福祉総務課 障害福祉企画課 (障害者福祉課) 高齢者福祉課 精神保健福祉課	拡充	★成年後見制度利用促進事業	ソフト	20,957		145	72 144
29	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	がん検診等事業	ソフト	827,142			73
30	保健福祉長寿局	清水病院 病院総務課	継続	★清水病院医学生修学資金貸与事業	ソフト	82,875			150
31	保健福祉長寿局	保健予防課	新規	妊娠を希望する女性等に対する風しん予防接種 費助成	ソフト	1,145		146	81
計						2,375,387			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 2,989,415

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	4,110	2,373		946	791
前年度予算額	3,185	1,839		733	613

目的	<p>住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けることができるよう、身近な地域ごとに医療・介護の専門職が連携する体制をつくり、各地区での切れ目のない在宅医療・介護の支援体制を確立する。</p>
----	---

事業概要	<p>小学校区程度の地区で医療・介護の専門職や地域の方々が参画する「自宅ですっとミーティング」を実施。在宅医療・介護連携推進に係る共通認識の醸成と圏域ごとのチームづくりを推進。</p> <p>1 「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業 4,110千円 「自宅ですっとミーティング」を他の圏域に拡大するとともに、新たなテーマを選定し、ミーティングにおいて検討。 ※平成28年度は「がん終末期」、平成29、30年度は「認知症」をテーマに、地域ごとのミーティングで検討を進めてきた。検討の成果は、全体報告会を開き、市民に周知している。</p>
------	--

自宅ですっとミーティング



報告会



事業スケジュール

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
6小学校区+2圏域 (モデル)	拡大; 8圏域 (31小学校区) 新規; 8小学校区	拡大; 16圏域 (43小学校区) 新規; 8小学校区	拡大; 24圏域 新規; 6小学校区	拡大; 30圏域 (全圏域)

市内の全圏域における医療・介護連携支援体制を確立・充実

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

地域包括支援センター運営事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	902,976	521,467		207,684	173,825
前年度予算額	913,250	527,401		210,048	175,801

目的	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、地域の相談窓口となる地域包括支援センターを設置・運営し、高齢者の総合相談や介護予防等に取り組む。
----	---

事業概要	<p>1 地域包括支援センター（愛称：まるけあ）の運営 899,980千円 市内30の日常生活圏域において29か所のセンターおよび2窓口（井川、由比）体制で高齢者やその家族を支援する。</p> <p>※地域包括支援センター 各センターに、保健師、社会福祉士及び主任ケアマネジャーを配置。専門職のチームアプローチで高齢者にかかる様々な相談等に対応。 (主な業務) ・高齢者や家族からの介護や福祉等に関するワンストップ相談窓口（総合相談） ・高齢者への虐待や消費者被害への対応（権利擁護） ・地域での介護予防の取組への支援や介護予防に関する相談・アセスメント（介護予防） ・地域のケアマネジャーへの助言・支援</p> <p>2 地域ケア会議推進事業 拡充 2,996千円 高齢者の自立支援・重度化防止のため、多職種連携による地域ケア会議を活用してケアプランを検討する。</p>
------	--

■地域包括支援センターの運営体制



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

生活支援体制整備事業

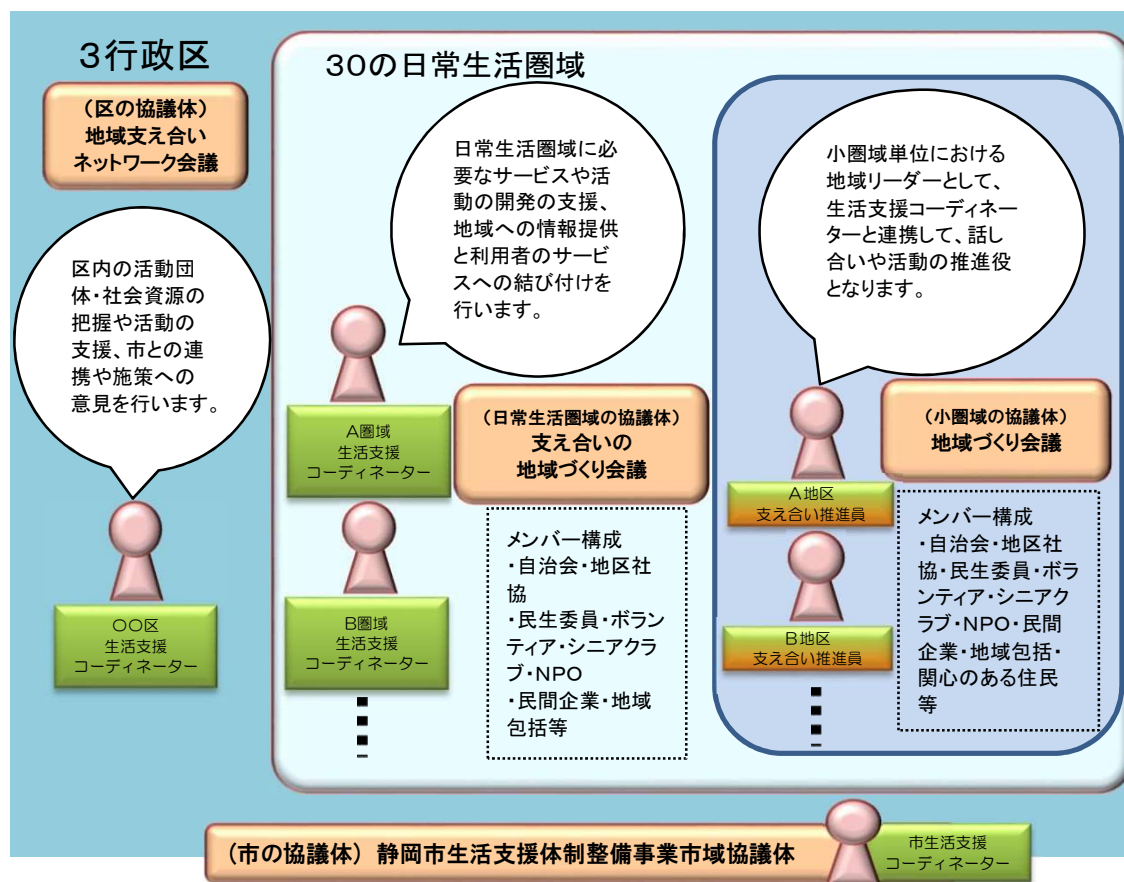
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	118,363	68,355		27,223	22,785
前年度予算額	118,363	68,355		27,223	22,785

目的	高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、社会福祉法人、地域住民等の多様な主体による重層的な生活支援サービスの提供体制を構築する。
----	--

事業概要	<p>1 生活支援体制整備のための協議体の設置 3,229千円 多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進することを目的に、市、各区、各日常生活圏域および各小圏域に協議体を設置する。</p> <p>2 生活支援コーディネーターの配置 115,134千円 地域に不足するサービスの開発やサービスの担い手の養成など多様な役割を担う「生活支援コーディネーター」を、市、各行政区及び各日常生活圏域に配置する。</p>
------	--



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

高齢者就労促進事業
企業OB等の活用による中小企業支援

保健福祉長寿局
経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	43,910	6,955		30,000	6,955
前年度予算額	5,259				5,259

目的	「人生100年時代」と言われる中、健康づくりや生きがい・社会参加、生活安定の観点に加え、企業や地域活動の担い手の確保、地域・経済活性化の観点から、働くことを希望する高齢者が生涯現役で企業や地域で活躍することができるよう、環境を整備する。
----	--



事業概要	<p>1 マッチング支援（プラットフォーム運営） 窓口を静岡庁舎新館2階に設置</p> <p>(1) 求人開拓、高齢者就労相談窓口の運営 新規 ・求人開拓員の企業訪問による高齢者向けの仕事の切出し ・高齢者のニーズに応じた求人情報等の提供など</p> <p>(2) 就職説明会、企業見学会、インターンシップ 新規 ・企業見学会の開催やお試し就労の機会などを提供</p> <p>(3) 企業OB等の活用による中小企業支援 新規 ・豊富な経験・スキル・知識・ネットワーク等を有する企業OB等のデータベースを構築し、課題を抱える市内中小企業との出会いの場を創出</p> <p>(4) 新現役交流会 拡充 ・課題を抱える市内中小企業と企業OB等のマッチング交流会を開催</p> <p>2 人材育成 新規 セカンド就労に向けた基礎研修、起業・地域ビジネス立ち上げ支援の実施</p> <p>3 重点分野の新規雇用創出 新規 農業、介護・福祉、観光・運輸・小売業の各分野における雇用創出を集中的に実施</p> <p>4 普及啓発 新規 メディアを活用した広報戦略の企画・実施、支援メニューや助成制度、好事例の周知</p> <p>【保健福祉長寿局】 事業費 30,000千円 貸付先 静岡市生涯現役促進地域連携協議会 【経済局】 事業費 13,910千円</p>
------	--



新現役交流会当日の様子



コンビニエンスストアと連携した就職説明会

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	18,809				18,809
前年度予算額	27,800	13,900			13,900

目的	アクティブシニアを中心に、地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、これにより住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。
----	---

事業概要	<p>市内2地区において、「健康長寿のまち」の先進的なモデル地域づくりを一層推進する。</p> <p>1 駿河共生地区 13,211千円 コンセプト：交流・共生で「健康長寿のまちづくり」駿河地域モデルの発信 ○静岡市地域福祉共生センター「みなくる」を中心に、地域福祉の推進や、地域・多世代の交流、移住支援を行う事業を推進</p> <p>2 葵おまち地区 4,770千円 コンセプト：「健康長寿なライフスタイル」～大人のおまち暮らし～ブランド化 ○葵区呉服町の再開発ビル「札の辻クロス」を中心に、次の事業を推進 ・お試し移住の機会を提供する葵おまち暮らし体験事業 ・移住者及び地域住民等との地域交流を推進する事業</p> <p>3 2地区共通 828千円 生涯活躍のまち静岡推進協議会開催、事業PR等</p>
------	---



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

市民参加型フレイル予防プロジェクト

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	1,980	742		990	248
前年度予算額	1,500	562		751	187

目的	高齢者の自らの健康状態への「気づき」を通じて、健康意識の高揚と、健康増進や介護予防の自発的な活動を促進することにより、健康寿命の延伸を図る。
----	--

事業概要	<p>○市民参加型フレイル予防事業の実施</p> <p>65歳以上の高齢者を対象に、簡単で楽しく自分の健康状態を知る「フレイルチェック」を実施し、健康意識を高めてもらうとともに、「運動」「食生活（口腔・栄養）」「社会参加」からなるフレイル予防の取組を促進する。</p> <p>フレイルチェックは、ボランティアの市民サポーターによる運営とすることで、市民主体事業としての普及を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講演会 189千円 ・フレイルチェック 838千円 (固定会場講座、出張会場講座) 簡易チェック、深堀チェック（握力・体組成計による筋肉量・滑舌チェック等） ・市民フレイルサポーターの養成 953千円 養成講座、ステップアップ講座、合同連絡会
------	--

※「フレイル」とは、加齢とともに心身の活力（運動機能、認知機能など）が低下し、要介護となる可能性の高い状態のこと。



▼体組成計を使った筋肉量計測



▲青、赤のシールを貼りながら楽しくチェック



講演会▶

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業
(しぞ〜かでん伝体操)

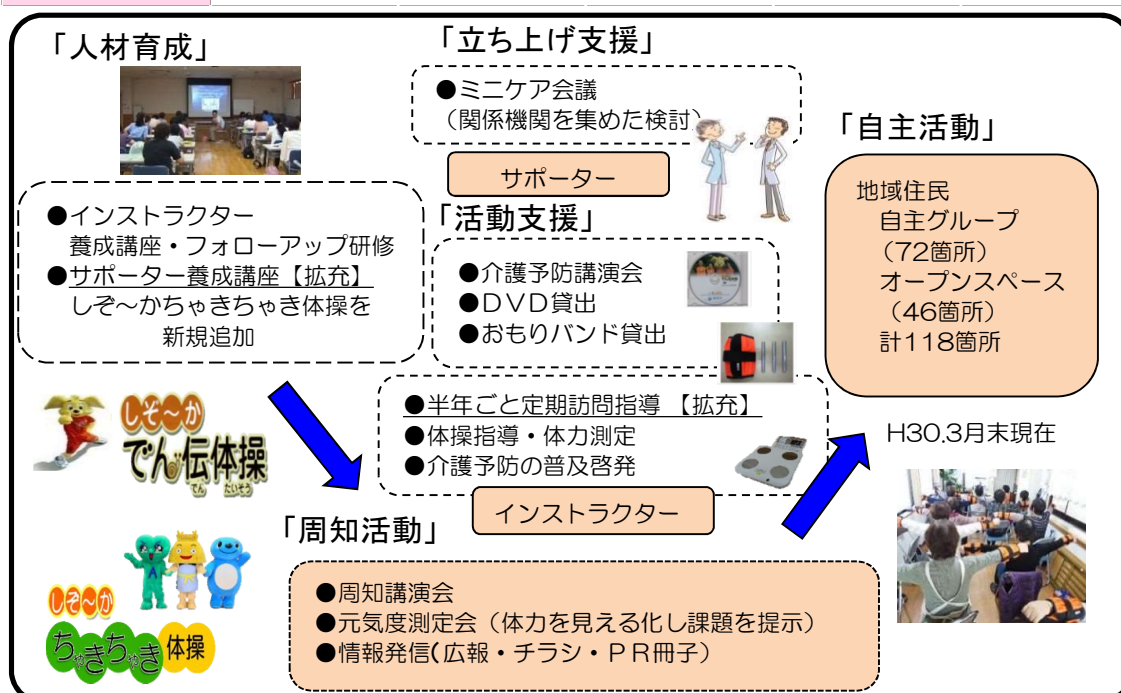
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	6,454	2,401		3,246	807
前年度予算額	4,220	1,563		2,130	527

目的	市民が介護予防体操（「しぞ〜かでん伝体操」「しぞ〜かちやきちやき体操」）に自主的に取り組む活動に対し、インストラクターなどの人材養成や活動を継続するための支援をさらに充実することにより、「健康寿命世界一」を目指していく。
----	--

事業概要	<p>1 自主グループの活動を支える人材の育成 1,263千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防活動拠点に対し、半年に1回定期的に支援できるインストラクターの養成及びフォローアップ研修を実施 ○サポーター（立上げ支援など）の養成 拡充 筋力向上のための「しぞ〜かでん伝体操」と共に、脳活性化プログラム「しぞ〜かちやきちやき体操」を地域で実施できる人材を養成 <p>2 自主グループの活動支援 5,191千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インストラクターの定期支援 拡充 インストラクターによる定期支援（体力測定・体操指導）を増やし、自主活動の継続支援を実施 ○元気度測定会 市内各地で体力測定（歩く能力・バランス能力など）を体験できる機会を設け、健康状態や課題を見える化し、介護予防への取組を実施
------	--



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

元気いきいき！シニアサポーター事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国25%、県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	73,233	27,243		36,836	9,154
前年度予算額	73,477	27,223		37,069	9,185

目的	シニア世代（65歳以上）の生きがいつくり・仲間づくりを通じた「介護予防」や「孤立防止」を推進し、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせる「健康長寿のまち」を目指す。
----	--



事業概要	<p>65歳以上のシニアの皆さんが、介護施設やS型デイサービスなどでボランティア活動をすると、活動した時間に応じてポイントが貯まり、静岡市の地場産品と交換できる事業。</p> <p>○ポイント交換までの流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サポーター登録をし、活動先の情報提供を受ける ②ボランティア活動等により、ポイントを得る ③ポイント交換申請をし、地場産品等と交換する <p>○活動先 ①介護施設 ②S型デイサービス ③在宅高齢者支援 ④病院 ⑤障害者施設</p> <p>○活動例 ・芸能などの披露、S型デイサービスの補助、お茶出し、配膳、下膳、話し相手、散歩相手等</p> <p>○登録サポーター数 6,697人 受入団体（活動先）数 790 （平成30年12月現在）</p>
------	---



ボランティア活動の様子

ポイントと交換できる地場産品



貯まったポイントは、85種類の地場産品から自由に交換できます。(2018年度)

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

認知症予防のための体制整備事業

保健福祉長寿局

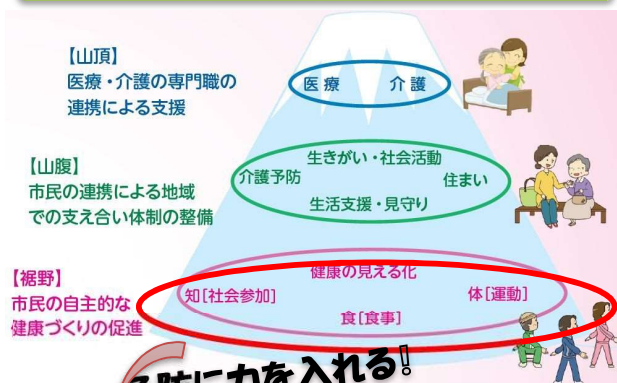
(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	10,000	3,750		5,000	1,250
前年度予算額					

目的	認知症予防の調査・研究を行い、認知症予防に効果的な事業開発とその予防策を普及させるため、認知症予防の拠点機能を中心とした産学官民が連携するしくみを構築する。
----	--

事業概要	1 認知症予防事業の企画会議、ワーキングの実施 2,913千円 ・構成：関係団体、専門機関、学識者等 ・予定回数：企画会議 年4回、ワーキング 年7回 ・認知症予防に有効な事業企画や（仮称）認知症予防センター等拠点機能の整備を検討
	2 市場調査の実施 3,500千円 ・認知症に関する動向等を把握するため、市民に対する調査の実施
	3 アドバイザーによる助言 1,800千円 ・学識者による、認知症の予防的観点や科学的見地からの助言
	4 認知症予防講演会等の実施 1,787千円 ・市民、関係者等に向けた認知症に関する講演会 ・市民の認知症理解と予防についての啓発事業等

「富士山型」健康長寿のまちづくり



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	639	369		147	123
前年度予算額	1,000	577		230	193

目的	認知症による行方不明者の人をできるだけ早く安全に保護するため、市民の認知症への理解を深めると共に、地域における見守りや連携体制を構築し、日常的に実践できる体制づくりを目指す。
----	---



事業概要	<p>新たな小学校区程度8箇所の地区を選定し、平成30年度作成したマニュアルを基に、地域包括支援センターや警察、自治会等で実行委員会を設置し、徘徊認知症高齢者が行方不明になったと想定した模擬訓練を地域住民の参画により実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練の実施 604千円 取組み意向のある地区を選定し、自治会や警察等で構成した実行委員会により、情報伝達訓練及び徘徊役の認知症高齢者への声かけ、搜索の実施に向けた準備を行う。当日は、参加した市民はグループで決められたエリア内で搜索活動を行う。 意見交換会合同開催 35千円 訓練実施地区の振り返りを行い、今後、効果的な事業として他の地区が取組めるよう、合同で意見交換を実施する。
------	---

[当日の様子]



声掛けの様子



打ち合わせの様子

	平成30年	平成31年度	合計
新規実施圏域	3か所	8か所	11か所

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

歯科保健推進事業

保健福祉長寿局

(千円)

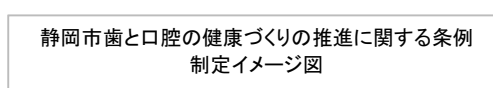
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,546			6	7,540
前年度予算額	2,382				2,382

目的	<p>歯と口腔の健康が全身の健康の保持・増進に重要な役割を果たしていることを広く市民に周知し、市をはじめとした関係者間の連携のもと市民の歯と口腔の健康づくりを推進する。</p>
----	--

事業概要	<p>「静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例」の制定に併せ、歯と口腔に関する取組を強化するため、歯と口腔の健康づくりの拠点として口腔保健支援センターを設置し、次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歯と口腔の健康づくり推進会議の設置・運営 73千円 歯と口腔の健康づくりの推進及び計画策定に向けた調査審議 2 条例制定記念講演会及び街頭キャンペーンの実施 4,361千円 条例施行を機に、歯と口腔の健康づくりを市民に広くPR 3 市民意識アンケート調査の実施 3,112千円 計画策定の基礎資料として、市民及び企業の歯と口腔の健康づくりに関する意識や実践状況を調査 <p>○対象者（予定）：市民及び市内企業 5,000件 ○内容：かかりつけ歯科医及び歯科健診の有無等について</p>
------	--



高齢期
介護予防普及啓発講演会



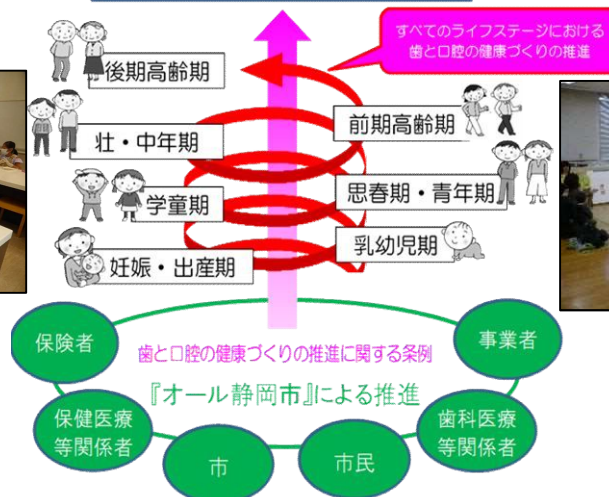
「健康長寿世界の都市」
の実現



全世代
健康まつりでの歯科相談



学童期
学童向け歯の教室



乳幼児期
乳幼児向け歯の教室

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

成年後見制度利用促進事業

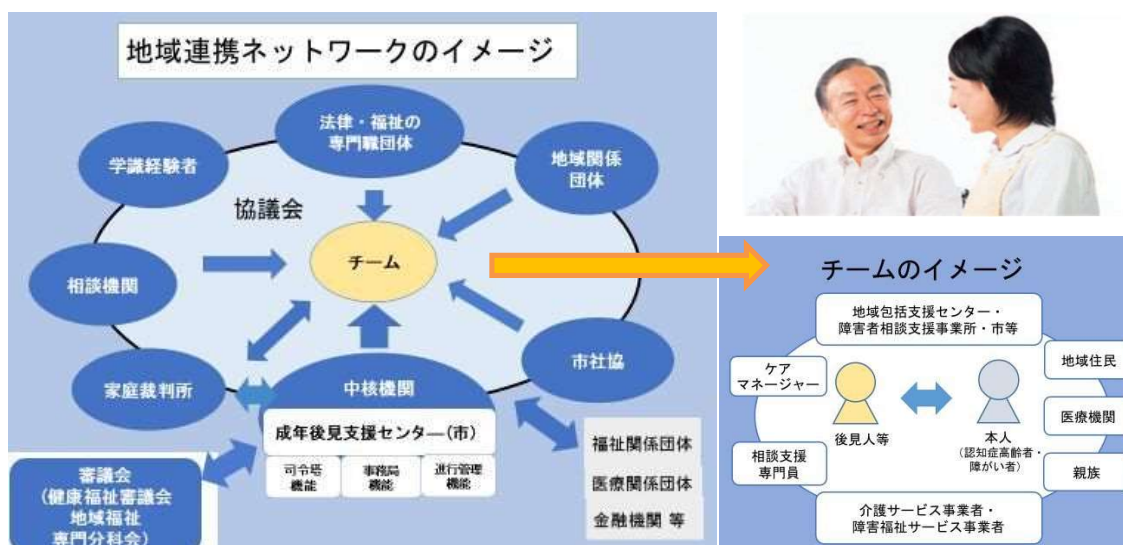
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2、県1/4ほか)	市債	その他	
当初予算額	20,957	10,458		2,078	8,421
前年度予算額	16,382	10,276		2,019	4,087

目的	一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加するなか、成年後見制度を必要な人が利用につながる地域連携ネットワークを構築し、市民が認知症等により判断能力が低下しても、安心して暮らすことができるまちを目指す。
----	---

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 成年後見制度利用促進協議会の実施 462千円 <ul style="list-style-type: none"> ・構成：家庭裁判所、専門職団体等関係機関、学識及び行政 ・実施予定回数：5回 ・地域連携ネットワークの中核となる機関の機能について検討 市民後見人の養成研修（実務編）の実施 5,106千円 <ul style="list-style-type: none"> ○市民後見人養成研修（2年目）の実施 ○研修終了後の後見受任に向けての支援体制の協議 成年後見制度相談事業 新規 2,955千円 <ul style="list-style-type: none"> ○弁護士等専門職による制度に関する無料相談会の実施 ・各区で月1回実施予定 成年後見制度啓発事業の実施 新規 60千円 <ul style="list-style-type: none"> ○地域関係者も含む市民向け講演会の実施 ○事業者向け説明会の実施 成年後見制度利用支援事業 12,374千円 <ul style="list-style-type: none"> ○市長による制度申立の実施 ○資力のない被後見人等を支援する後見人等への報酬助成 拡充 ・対象者を市長申立案件のみから本人・親族申立にも拡大
------	---



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 【新規】

妊娠を希望する女性等に対する風しん予防接種費助成

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,145				1,145
前年度予算額					

目的	風しん抗体検査の結果、予防接種が必要となった者に対し、接種費用を助成することにより、抗体検査から予防接種までを確実につなげることで、先天性風しん症候群の発生を未然に防ぐ。
----	---

事業概要	<p>妊娠を希望する女性等に対する風しん予防接種に係る費用を助成する。</p> <p>○対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠を希望する女性とその配偶者 ・妊婦の同居家族 <p>うち、風しん抗体検査の結果、予防接種が必要となった者</p> <p>○接種回数</p> <p>MR（麻しん風しん混合）ワクチン 1回</p>
------	--

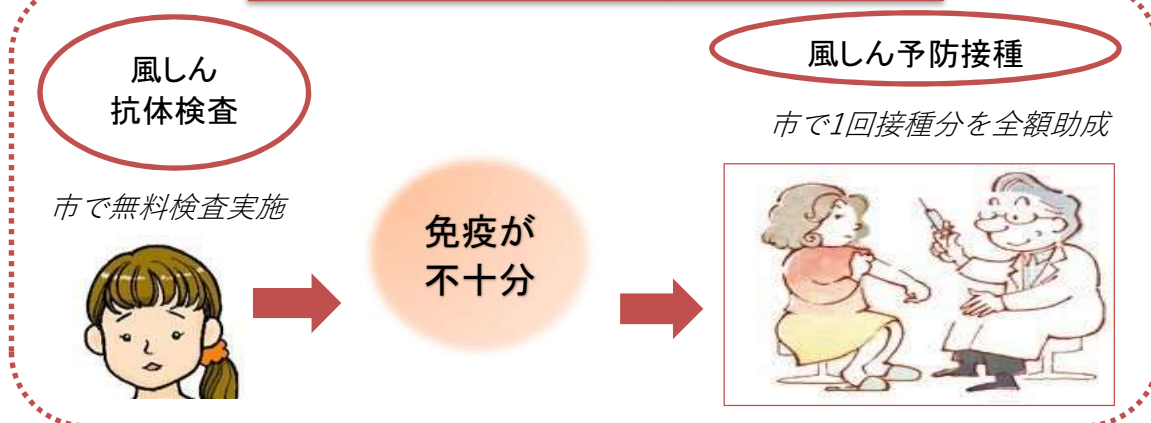
先天性風しん症候群とは

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんに感染することで胎児が風しんウイルスに感染し、先天性風しん症候群が発生する可能性がある。



胎児に白内障、難聴、心疾患、さらには精神や身体の発達の遅れといった障がいが発症

風しん抗体検査から予防接種までの流れ



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-②	静岡型子ども・子育て支援の推進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
結婚支援									
1	子ども未来局	青少年育成課	拡充	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	ソフト	2,868		150	84
2	子ども未来局	青少年育成課	継続	結婚新生活支援事業費助成	ソフト	10,000		151	84
妊娠・出産支援									
3	子ども未来局	子ども家庭課	継続	不妊治療費助成事業	ソフト	229,855			87
4	子ども未来局	子ども家庭課	継続	産婦健康診査事業	ソフト	49,000		152	87
5	子ども未来局	子ども家庭課	継続	産後ケア事業／ママケアデイサービス事業	ソフト	22,042		153	87
6	保健福祉長寿局	清水看護専門学校	新規	清水看護専門学校助産学科の開設	ソフト	5,970		154	80
子ども・子育て支援(乳幼児期)									
7	子ども未来局	子ども未来課	継続	幼児期の教育・保育の施設整備	ハード	841,069		155	83
8	子ども未来局	幼保支援課	継続	私立こども園・保育所等給付事業	ソフト	13,620,416			84
9	子ども未来局	幼保支援課	継続	市立こども園等給付事業	ソフト	3,062,270			84
10	子ども未来局	こども園課	継続	市立こども園等運営事業	ソフト	1,852,210			86
11	子ども未来局	幼保支援課	継続	保育士宿舍借り上げ支援事業費助成	ソフト	8,568			85
12	保健福祉長寿局 子ども未来局	障害福祉企画課 (障害者福祉課) 子ども家庭課	拡充	発達早期支援事業	ソフト	14,561		156	73 86
子ども・子育て支援(学童期)									
13	教育局	学校給食課	拡充	日本一おいしい学校給食の提供事業	ソフト	91,566	④健康長寿のまち	157	124
14	子ども未来局	子ども未来課	拡充	放課後児童クラブの整備・運営	ハード ソフト	1,399,048		158	83
15	子ども未来局	子ども未来課	継続	清水北部地域児童館建設事業	ハード	52,200			83
16	教育局	教育施設課	継続	小中学校校舎大規模改修・小中学校校舎トイレリフレッシュ事業	ハード	1,133,600		159	121
17	教育局	教育施設課	継続	小中学校基幹設備等改修事業	ハード	272,700			121
18	教育局	教育施設課 学校教育課	継続	静岡型小中一貫教育の推進事業	ハード ソフト	187,493			120
19	教育局	教育施設課	継続	小中学校校舎エアコン設置事業	ハード	35,459		160	122
20	教育局	教育施設課	新規	大川教職員住宅建設事業	ハード	130,351			121
21	教育局	教育センター	拡充	学校図書館の充実	ソフト	64,510		161	124
22	教育局	学校教育課	拡充	静岡型部活動システム推進プロジェクト	ソフト	47,078			122

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ	
23	教育局	教育総務課	拡充	放課後子ども教室推進事業	ソフト	113,856			119	
24	教育局	学校教育課	拡充	特別支援教育推進事業	ソフト	167,563			122	
25	教育局	学校教育課	継続	遠隔教育推進事業	ソフト	4,412			123	
26	教育局	学校給食課	継続	門屋学校給食センターPFI事業	ハード	143,506			124	
27	教育局	学校給食課	継続	西島学校給食センターPFI事業	ハード	165,266			124	
28	市民局、子ども未来局、都市局、教育局	生活安心安全課、子ども園課、交通政策課、児童生徒支援課	継続	★自転車利用計画推進事業	ソフト	14,110	④健康長寿のまち	169	54.86 104. 123	
29	教育局	学校教育課 教育センター	拡充	★英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(グローバル人材の育成)	ソフト	246,975		162	122	
30	教育局	児童生徒支援課	継続	★高校生、短大生、大学生に対する奨学金貸付事業	ソフト	65,076			123	
若者支援										
31	子ども未来局	青少年育成課	拡充	ひきこもり対策推進事業	ソフト	23,640			84	
32	子ども未来局	青少年育成課	継続	わかもののまち推進事業	ソフト	730			52	
困難を有する子ども・若者の支援										
33	保健福祉長寿局 子ども未来局 教育局	福祉総務課 子ども家庭課 児童生徒支援課	継続	子どもの貧困対策の推進	ソフト	64,721		164	119	
34	子ども未来局 教育局	青少年育成課 児童生徒支援課	拡充	総合的な不登校対策推進事業	ソフト	10,410			83 123	
35	子ども未来局	児童相談所	継続	要保護児童自立支援事業	ソフト	15,971			88	
36	子ども未来局	児童相談所	拡充	里親支援事業	ソフト	21,242		165	88	
その他										
37	子ども未来局	子ども家庭課	拡充	子ども医療費助成	ソフト	2,458,924		166	87	
計						26,649,236				

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 23,514,703

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

しずおかエンジェルプロジェクト推進事業

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	2,868	917			1,951
前年度予算額	3,648	931			2,717

目的	未婚化・晩婚化に伴う少子化への対策のため、男女の出会いの機会の創出や、地域ぐるみで結婚を応援する気運の醸成を図る。
----	---

事業概要	<p>1 出会いのイベントの開催 1,759千円 ○セミナーと併せた出会いのイベントの開催 ○親対親の代理婚活の開催 ○地域資源を活用した出会いのイベントの開催 ○静岡男子と首都圏女子との婚活バスツアーの開催</p> <p>2 婚活サポーターの養成・派遣 新規 159千円 ○出会いのイベントにて成立したカップルの相談や後押しを行う婚活サポーターを養成し、カップル成立後の継続的なフォロー体制を整備する。</p> <p>3 官民連携による意識啓発・情報提供 950千円 ○公共施設を活用したフォトウェディングの推進 ○婚姻届提出記念撮影コーナーの設置 ○カップル応援企業の募集 ○ターゲット層を絞った意識啓発と情報発信 新規</p>
------	--

“しずおかエンジェルプロジェクト”の取り組み

公共施設活用！

紅葉山庭園婚活



出会いのイベントの開催

首都圏女子との“トーキョー女子婚活バスツアー”



婚活サポーターの養成・派遣

婚活サポーターによるカップルフォロー



官民連携による意識啓発・情報提供

公共施設でフォトウェディング



20～30代未婚者への情報発信

20～30代未婚者への情報発信



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

結婚生活支援事業費助成

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	10,000	5,000			5,000
前年度予算額	10,000	5,000			5,000

目的	新婚世帯を対象に、結婚に伴う新生活に係る費用（新居の住居費、引越し費用等）を助成することで、経済的負担を軽減する。
----	---



事業概要	<p>○対象となる世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31（2019）年4月1日から2020年3月31日までに婚姻届を提出した世帯 ・本市に住民票がある世帯 ・婚姻日における年齢が夫婦とも34歳以下 ・夫婦の所得の合計が340万円未満の世帯 <p>○補助対象となる経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の住宅取得費用 ・新規の住宅賃借費用（賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料） ・結婚に伴う引越し費用 <p>○補助額</p> <p>上記の費用の合計で30万円を上限（平成30年度上限30万円）</p>
------	---



(補助対象)
新婚生活のための
引越費用



(補助対象)
住宅の購入費
賃料、共益費
敷金、礼金
仲介手数料



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

産婦健康診査事業

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	49,000	24,500			24,500
前年度予算額	12,500	6,250			6,250

目的	産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査に係る費用を助成することにより、産後うつや早期発見や新生児への虐待予防を図ることで母子への支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。
----	--

事業概要	<p>産後2週間、産後1か月の産婦健診に係る費用を、1回5,000円を上限に助成する。(平成31(2019)年1月より開始)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施回数 対象者1人につき2回を限度とする。 ○実施時期 第1回：概ね産後2週間 第2回：概ね産後1か月 ○実施項目 外来受診において実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・問診(授乳状況、育児不安等) ・診察 ・体重・血圧測定 ・尿検査 ・こころの健康チェック表 (エジンバラ産後うつ病質問票) ○実施場所 産科医療機関 ○実施方法 母子健康手帳交付時に産婦健康診査受診票を交付
------	--



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

産後ケア事業／ママケアデイサービス事業

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	22,042	10,589		864	10,589
前年度予算額	21,855	10,495		864	10,496

目的	<p>出産後の負担を軽減するため、助産師等による母体の回復に向けたケアや育児指導などのサービスの提供（産後ケア事業）、相談支援や交流・休憩の場の提供（ママケアデイサービス事業）により、母子の孤立感を解消しもう一人産みたくなる環境を整える。</p>
----	---

事業概要	<p>1 産後ケア事業 14,992千円</p> <p>○産後の母体の回復や育児についての不安が強い方を対象に、助産師等が①母体ケア、②乳児ケア、③授乳・沐浴等の育児指導、④乳房ケア、⑤育児相談等を提供する事業 （対象）生後4か月未満の乳児とその母親 長期入院等やむを得ない理由で乳児が外出できない場合、日帰り型【相談タイプ】と訪問型に限り母のみの利用も可能。</p> <p>○実施種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊型：助産所等に宿泊 ・日帰り型：助産所等に通所 【相談と休息タイプ】1回あたり7時間程度 【相談タイプ】1回あたり120分程度 ・訪問型：助産師等が対象者宅を訪問 <p>2 ママケアデイサービス事業 7,050千円</p> <p>○産婦の悩みに応える相談支援や休息、交流の場の提供</p> <p>○市内の民間宿泊施設、温泉施設を活用し、官民協働で実施 （対象）4か月以上1歳未満の子どもとその母親</p> <p>○1回あたり1,500円</p>
------	--

産後ケア事業



母体の回復に向けた心身のケアや保健指導を提供

母のみの利用も可能（長期入院等、やむを得ない理由で乳児が外出できない場合）

ママケアデイサービス事業



相談支援や交流、休憩の場を提供

官民協働！

民間宿泊施設、温泉施設を活用

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

清水看護専門学校助産学科の開設

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,970			1,900	4,070
前年度予算額					

目的	清水看護専門学校で助産師を養成することにより、助産師不足の解消を図り、子どもを産み、育てやすいまちづくりを推進するとともに助産師を目指す人材の流出を防止する。
----	---

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○開講場所 静岡市立清水看護専門学校 (静岡市清水区宮加三1221番地の5) ○開講年月日 平成31(2019)年4月1日 ○学科名 助産学科 ○定員 10名 ○入学資格 看護師免許取得(見込)者 ○修業年限 1年課程 ○取得可能資格 <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師国家試験受験資格 2. 受胎調節実地指導員の申請資格 3. 新生児蘇生法専門コース修了認定 ○事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 学科 基礎助産学、助産診断・技術学、地域母子保健、助産管理 実習(7月・8月・11月・12月実施) 分娩介助実習Ⅰ・Ⅱ、助産外来実習、NICU(新生児集中治療室)実習、助産所実習、保健福祉センター実習
------	--

生命を尊重し、母親に寄り添い、
地域に貢献できる助産師を育成します。



演習・実習では、対象に合わせた
確かな技術を身につけます。



講義では、高い倫理観を基盤にした
専門的知識を学習します。



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

幼児期の教育・保育の施設整備

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (8/9、2/3)	市債	その他	
当初予算額	841,069	668,794	153,600		18,675
前年度予算額	493,297	438,485	45,400		9,412

目的	保育所等の待機児童解消に向けて、必要な教育・保育の受け皿を確保するための施設整備を推進する。
----	--

事業概要	<p>○平成31(2019)年度 整備予定 定員数65人 841,069千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存保育施設の定員増 2か所 20人 362,567千円 ・私立幼稚園の認定こども園移行 1か所 45人 478,502千円
------	---

【事業計画の全体像】
27年度から30年度までの4年間で
2,986人分の定員増



<静岡市子ども・子育て支援プランにおける教育保育の量の確保の目標と実施見込み>

確保方策	計画	実施見込み		
		平成27~30年度	平成31年度	合計
1 既存保育施設の定員増	24か所 381人	23か所 370人	2か所 20人	25か所 390人
2 私立幼稚園の認定こども園移行	14か所 783人	15か所 807人	1か所 45人	16か所 852人
3 認定こども園等の新設	16か所 1,270人	16か所 1,240人		16か所 1,240人
4 小規模保育事業等の新設	31か所 552人	29か所 504人		29か所 504人
合計	85か所 2,986人	83か所 2,921人	3か所 65人	86か所 2,986人

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

発達早期支援事業

保健福祉長寿局・子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,561	7,280			7,281
前年度予算額	6,154				6,154

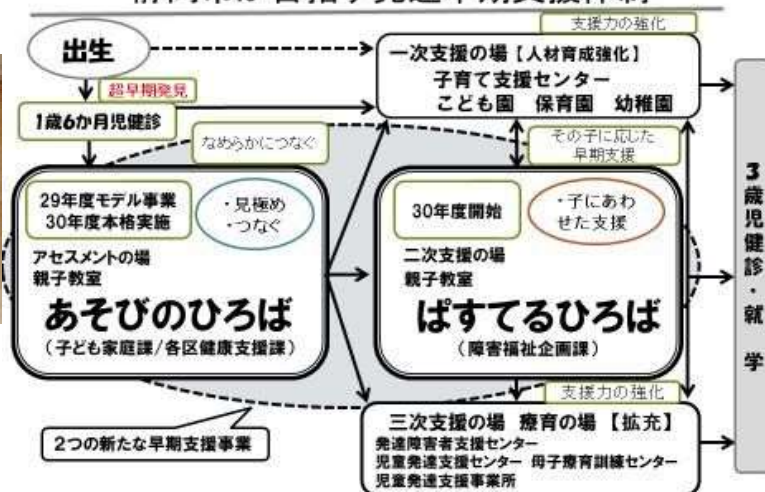
目的	1歳半健診から発達の気になる子を超早期に発見し、アセスメントを行い、子どもに応じた支援の場につなぐ体制を整備することで、就学前までの切れ目のない発達早期支援体制を構築する。
----	--



事業概要	<p>切れ目のない発達早期支援体制の構築</p> <p>1 アセスメントの場「あそびのひろば」の整備 拡充 6,796千円 1歳半健診から発達の気になる子を超早期につなぐアセスメントの場を整備。遊びを中心として小規模集団活動を体験的に行い子どもの発達を見極め、次の適切な支援先につなぐ。 ○場所 H30：3か所⇒H31：6か所（各区2か所） 拡充 ※会場は各区保健福祉センターを予定 ○回数 1クール（3か月：5回）×4クール×6か所 ○人数 1クール10組（計240組） ○時期 平成31年4月～</p> <p>2 二次支援の場「ぱすてるひろば」の整備 拡充 7,765千円 「あそびのひろば」から引き続き支援が必要な子などを受け入れる場を整備し、子どもの特性に合わせた支援を年間を通して行い、子の発達を促す。 ○場所 H30：3か所⇒H31：6か所（各区2か所） 拡充 ○回数 月2回×6か所（うち3か所は7月開始） ○人数 各回10組 ○時期 平成31年4月～ ○医師関与 子の適切な支援につなげるため、医師による助言の場を設ける。 新規</p>
------	---



静岡市が目指す発達早期支援体制



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

日本一おいしい学校給食の提供事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	91,566				91,566
前年度予算額	1,117				1,117

目的	給食がおいしく楽しい時間となるよう静岡の自慢のブランド食材を使った特別な給食を提供したり、学校や家庭での食育の推進を図ることにより、給食を通じて静岡への愛着と誇りをもつ子どもたちを育成する。
----	---



事業概要	<p>1 わくわく給食プロジェクト 新規 90,442千円 ○概要 保護者負担の給食費に、1食あたり300円程度の食料料費を加えた特別献立を提供する。 ○回数 年6回 ○対象 全市立小中学校</p> <p>2 「全国学校給食甲子園」への挑戦 124千円 ○概要 ・地場産物を活用した「静岡ならではの献立」を研究し「全国学校給食甲子園」へ応募する。 ・献立の比較研究を行い、献立内容の充実を図る。</p> <p>3 学校教育活動を通じた食育の推進 1,000千円 ○甲子園応募献立、自慢の献立、人気の献立等をレシピ集にまとめ、学校や家庭での食育の推進に役立てる。</p>
------	---

わくわく給食プロジェクト 提供献立(案)

(視点：静岡の自慢のブランド食材を使った献立を提供する。)



釜揚げしらすや桜えびを使った献立



牛肉を使った献立



うなぎを使った献立



ツナを使った献立

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

放課後児童クラブの整備・運営

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	1,399,048	950,163	47,500		401,385
前年度予算額	1,244,284	789,413	86,400		368,471

目的	放課後児童クラブへの入会希望者が全員利用できるように、施設整備拡充を行うとともに、民間児童クラブへの支援を進めるほか、利用者負担の軽減・開所時間の延長など、運営の充実を図り、利用しやすい環境を整える。
----	--

事業概要	平成31（2019）年度 当初の受入児童数	5,685人
	1 放課後児童クラブ室の整備 拡充	463,738千円
	○15室のクラブ室整備（475人） ⇒2020年度当初の待機児童0を目指す。	
	2 放課後児童クラブの運営	889,747千円
	○79クラブ（163室） ○支援の質の向上及び安定的なクラブ運営に向け、支援員全体の処遇を見直し 拡充 ○開所時間を原則19時まで延長 拡充 ○世帯の所得やきょうだいの入会状況等により利用者負担額を軽減	
	3 放課後児童クラブへの助成	45,563千円
	○基準を満たす民間児童クラブに対し運営費を助成 ○世帯の所得やきょうだいの入会状況等により民間児童クラブの利用者負担額を軽減	
	4 放課後子ども教室（教育局）との連携による放課後児童対策の推進 拡充	
	○地域住民の参画により、放課後、学校施設を利用して全学年の児童を対象に安心・安全な体験・交流の場を提供する「放課後子ども教室」との連携を進めることで、放課後児童対策を推進 ・放課後児童クラブとの一体型 59校 (放課後子ども教室 76校実施予定)	

放課後児童クラブの様子



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

小中学校校舎大規模改修・小中学校校舎トイレリフレッシュ事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/4、1/3、1/2)	市債	その他	
当初予算額	1,133,600	247,413	504,600		381,587
前年度予算額	1,008,582	208,110	457,100		343,372

目的	静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき、児童・生徒が安心・安全に教育を受けられる環境整備と、地域住民の避難所としての機能を確保するため、小中学校校舎の長寿命化及び老朽化対策に加え耐震性能を向上させる大規模改修工事を計画的に進める。
----	---

事業概要	<p>1 小中学校校舎大規模改修事業 建築後概ね35～45年を経過した小中学校の校舎を対象に、老朽化対策と耐震性能を向上させるため大規模改修を行う。</p> <p>○設計 24,800千円 (小学校)校舎 清水江尻小学校 合計1校</p> <p>○工事等 752,300千円 (小学校)校舎 長田東小学校等 合計3校</p> <p>2 小中学校校舎トイレリフレッシュ事業 小中学校のトイレについて、和便器から洋便器への更新、床のドライ化、ブース改修等のリフレッシュ事業を行う。</p> <p>○設計 23,700千円 (小学校) 安倍口小学校等 計5校 (中学校) 長田西中学校等 計3校 合計8校</p> <p>○工事等 332,800千円 (小学校) 西豊田小学校等 計5校 (中学校) 清水第二中学校等 計3校 合計8校</p> <p>～洋式化率の推移と2020末目標(洋式化率50%)～ H27末 → H28末 → H29末 → H30末 → H31末 → 2020末 39.2% 41.9% 43.7% 46.8% 50.2% 52.2%</p> <p>2.7%UP 1.8%UP 3.1%UP 3.4%UP 2%UP 1年前倒して 洋式化率達成見込み!</p>
------	---



校舎改修前(例)



校舎改修後(例)

- ・耐震(構造保全)工事
- ・天井の雨漏りを改修
- ・老朽化した外壁を塗り替える
- ・内装の改修(床・壁)
- ・電気設備の改修
- ・衛生設備の改修 など

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

小中学校校舎エアコン設置事業

教育局

(千円)

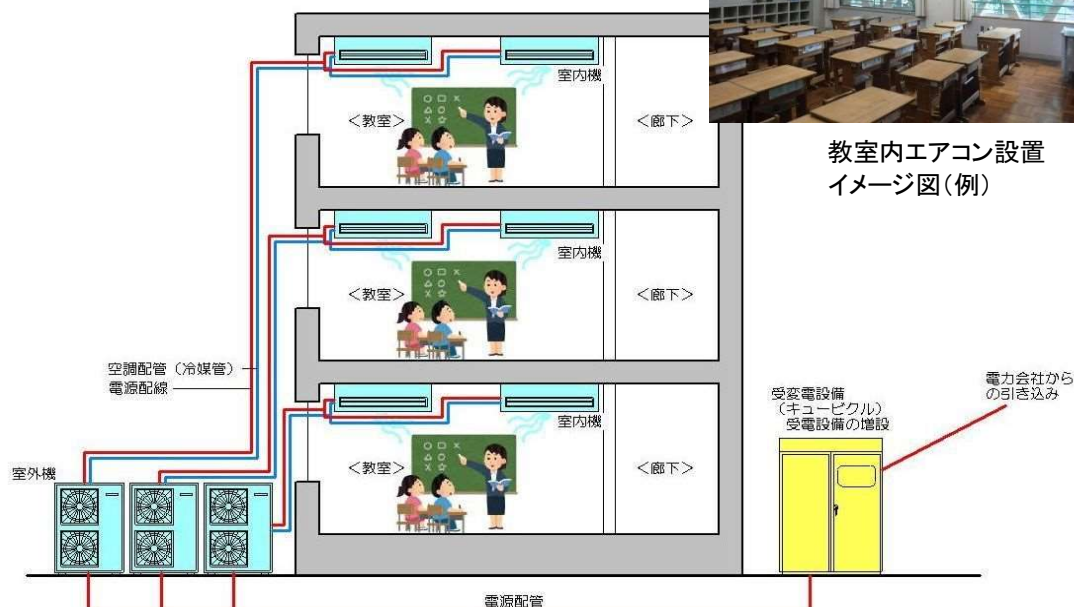
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	35,459		26,500		8,959
前年度予算額	10,000				10,000

目的	近年の夏場の気温上昇から児童・生徒の安全と健康を守り、また学習環境を改善するため、小中学校の普通教室（特別支援学級を含む）にエアコンを設置する。
----	--

事業概要	<p>小中学校の全ての普通教室にエアコンを設置する。 整備期間は3年間を予定。 平成30年度の小学校分に引き続き、中学校分の実施設計を実施。</p> <p>(小学校) 学校数 86校 普通教室1,289教室（小中一貫校含む） スケジュール 平成30年度実施設計 平成30年度～平成31年度整備</p> <p>(中学校) 学校数 38校 普通教室535教室 スケジュール 平成31年度実施設計 2020年度～2021年度整備（予定）</p> <p style="text-align: right;">35,459千円</p>
------	--



教室内エアコン設置イメージ図(例)



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

学校図書館の充実

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	64,510			7	64,503
前年度予算額	62,371			3,893	58,478

目的	2020年度の新学習指導要領を見据え、学校図書館へのアドバイス体制を構築するなど学校図書館の充実を図り、論理的思考力などの「生きる力」を身に付けた子どもたちの育成を目指す。
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 各学校図書館への支援 新規 2,601千円 専任の学校図書館担当指導主事による各学校の学校司書及び学校図書館担当教諭等への支援や、「学校図書館活用ガイドライン」の作成などにより、市内学校図書館の平準化・高度化を図る。 2 学校司書未配置校への対応 新規 3,337千円 学校司書未配置校に兼務の学校司書を配置する。 また、タブレット端末を配備し、学校司書が不在でも、子どもたちがレファレンスを受けられる環境を整備する。 3 学校司書の研修充実 拡充 389千円 学校司書の資質向上のため、新たに小中一貫教育や授業での活用のための研修を行う。
------	---



研修の充実



各種コーナーの設置



温かな環境づくり



新聞とその関連本

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト
(グローバル人材の育成)

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	246,975	22,615		16,243	208,117
前年度予算額	253,371	22,122		17,602	213,647

目的	小中学校の9年間を通じた静岡型小中一貫教育の中で、異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情を持ちながら国際的に活躍できるグローバルな子どもたちを育てる。
----	---

事業概要	静岡市英語教育推進指針に沿った取組を推進
	1 英語検定受験補助の実施 1,800千円 市立中学校の3年生の希望者を対象に、英語検定3級以上の検定料のうち1,000円を補助
	2 英語が堪能な地域人材「GET」の活用 拡充 14,799千円 英語が堪能な地域人材をGlocal English Teacher=GETとして各小学校へ配置し、担任・ALTと共に英語の授業を実施 【資格要件】静岡市在住で、海外生活経験のある方、英検準1級相当以上の英語力を有する方など
	3 静岡市独自教材の活用 1,820千円 しずおか学と連携した独自教材を小学校へ配布し、静岡市ならではの題材を用いた英語表現を身に付ける授業を実施
	4 授業以外で英語に接する機会の提供 157千円 ALTと英語だけで活動するイングリッシュキャンプや、放課後にALTと気軽に英会話を楽しむイングリッシュカフェなどの実施
	5 教員の英語力の向上 1,370千円 海外派遣研修など、教員の英語力を高めるため、教員研修を実施
★グローバル人材：グローバル（Global）とはグローバル（Global）とローカル（local）からの造語で、グローバル人材とは『世界的な規模で考えて、身近なところから行動できる（Think globally, act locally）』人材	



GETの活用の様子



独自教材「しずおかグローバルタイム」

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

総合的な不登校対策推進事業

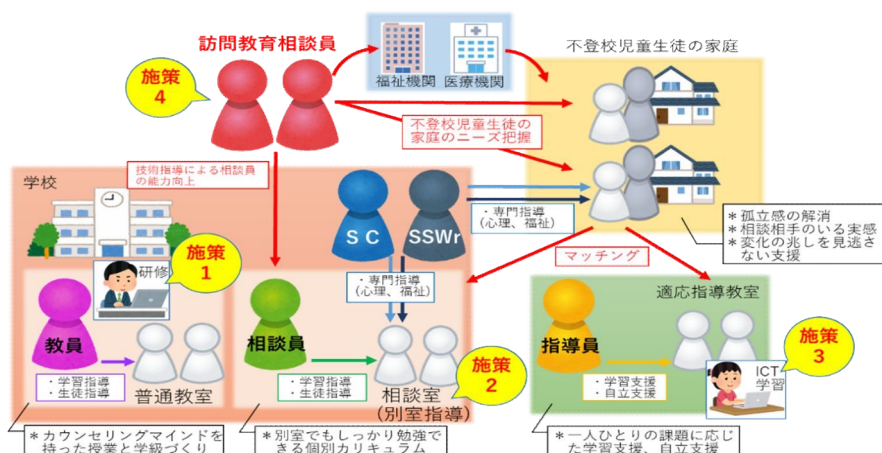
子ども未来局・教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,410			960	9,450
前年度予算額					

目的	不登校児童生徒が増加傾向にある中で、学校の息苦しさの低減、学校が苦手な子との絆の醸成と学習機会の確保を図り、「どの子も置き去りにしないアウトリーチ型支援体制」を構築する。
----	---

事業概要	≪不登校対策の3つの視点≫ ○昔ながらの生徒指導からの脱却 ○児童生徒一人一人の特性を理解し、個に応じた適切な対応 ○切れ目なく社会資源とつながっていくこと
	1 不登校対応振り返り研修システムの確立 新規 960千円 全教員が、不登校対応チェックシートにより、不登校対応の振り返りチェックを行い、必要な研修を受講することで、不登校対応力を高める
	2 相談室（別室指導）教育の充実 新規 誰もが充実した別室指導を受けられるよう、先進的な別室指導体制の研究、市内学校への水平展開
	3 適応指導教室でのICT教材の活用 新規 2,700千円 タブレット型PCの導入等により、適応指導教室での十分な学習指導を推進



どの子も置き去りにしないアウトリーチ型支援体制

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

子どもの貧困対策の推進

保健福祉長寿局・子ども未来局・教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	64,721	20,791		164	43,766
前年度予算額	60,906	20,448		172	40,286

目的	学校や地域、福祉関係機関等が連携し、支援を必要とする子ども・家庭を確実に捉え、教育の支援・生活の支援・保護者の就労支援・経済的支援を行う。
----	---



事業概要	<p>【平成31（2019）年度主要事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等の子どもへの学習支援事業 23,945千円 大学生等のボランティアの協力を得て、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、子どもの気持ちに寄り添った学習支援と生活支援を実施 ○支援対象：小学生から高校生まで ○学習支援：市内10ヶ所を実施 ○生活支援：市内3ヶ所を実施 生活困窮者子どもの学習意欲向上事業 3,514千円 子どもが学習に対しての習慣づけや進学意欲を持ち、進学等による将来の就労条件、就職率の向上を助長することで、貧困の連鎖を防止するため、家庭相談員による世帯への訪問支援等を実施 ○支援対象 小学5年生から高校生まで スクールソーシャルワーカー活用事業 21,715千円 就学前から卒業後まで切れ目のない支援を行うために、貧困や虐待など複雑な問題を抱える子ども・家庭の支援、学校と福祉機関とをつなぐ役割を担うスクールソーシャルワーカーを配置 ○小中学校：12名（拠点校12校へ配置） ○高等学校：2名（市立の高校 各1名配置） 適応指導教室の運営 拡充 15,547千円 不登校児童生徒の学校生活への復帰や集団生活への適応など自立に向けた取組を支援 ○ICT環境の整備（タブレット端末の導入）
------	---

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

里親支援事業

子ども未来局

(千円)

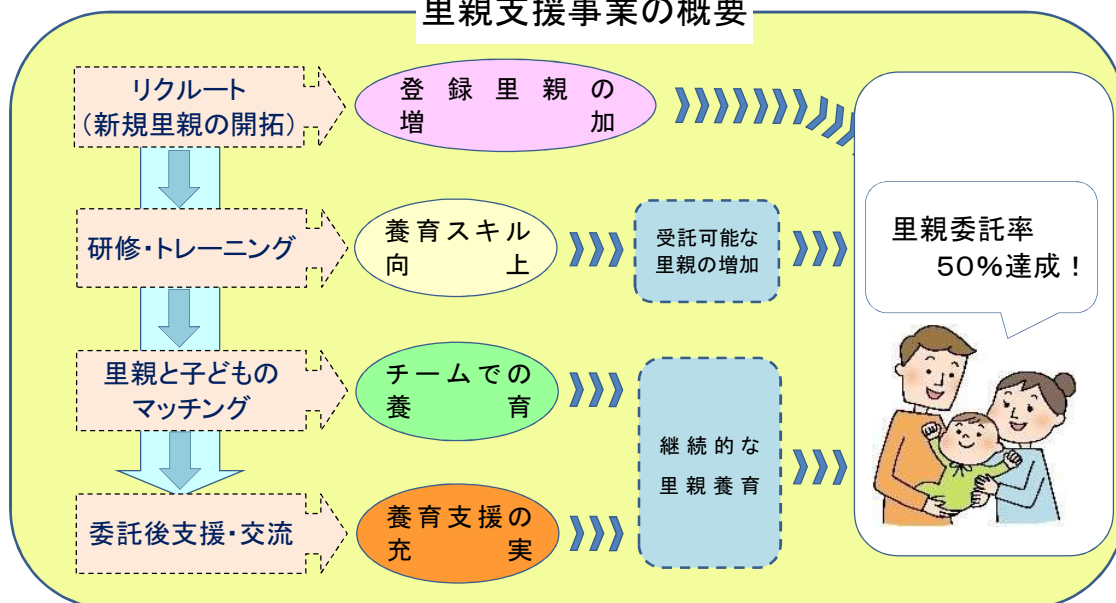
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	21,242	10,457			10,785
前年度予算額	17,464	8,379			9,085

目的	里親委託の促進により、社会的養護が必要な子どもをより家庭的な環境下で養育することで、愛着関係の形成を通じて、社会的養護を受ける子どもの健全な育成を図る。
----	--



事業概要	<p>①里親のリクルート事業 3,635千円 ・リーフレットやポスターの制作、電車への広告掲示 拡充 ・里親月間の行事開催</p> <p>②里親研修・トレーニング事業 7,584千円 ・里親登録前研修や更新研修の実施 ・養育力を向上させるためのトレーニング事業</p> <p>③里親と子どものマッチング 2,861千円 新規 ・里親に委託された子どもの養育内容や自立に向けた計画策定</p> <p>④委託後の里親支援・交流 6,835千円 ・里親家庭への訪問支援員の増員 拡充 ・里親同士の定期的な相互交流事業</p> <p>⑤その他 327千円 ・里親賠償責任保険関係事業</p>
------	--

里親支援事業の概要



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

子ども医療費の助成

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/6, 1/8)	市債	その他	
当初予算額	2,458,924	25,396		160,514	2,273,014
前年度予算額	2,172,851			130,037	2,042,814

目的	病気やケガなどで医療機関に入院・通院した時の保険診療医療費の一部を助成し、子どもの健やかな成長と家庭の経済的負担軽減を図る。
----	--



事業概要	<p>1 0歳から中学校卒業(15歳)までの医療費助成 2,242,197千円</p> <p>○入院費及び通院費に係る医療費助成事務</p> <p>2 高校生世代(16歳から18歳まで)の医療費助成 拡充 216,727千円</p> <p>○福祉総合システムの改修 ○新受給者に対する受給者証発行事務 ○入院費及び通院費に係る医療費助成事務</p>
------	--



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-③	健康都市の実現に向けた基盤整備

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
自転車を利用しやすいまち									
1	市民局、子ども未来局、都市局、教育局	生活安心安全課、子ども園課、交通政策課、児童生徒支援課	継続	★自転車利用計画推進事業	ソフト	14,110	④健康長寿のまち	169	54,86 104, 123
2	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業 (自転車走行空間ネットワーク整備事業)	ハード	261,000		170	114
歩いて楽しいまち									
3	都市局 建設局	市街地整備課 道路計画課	継続	★追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業	ハード	179,700	①歴史文化	34	105 113
4	都市局	緑地政策課	継続	★駿府城公園「桜の名所」づくり事業	ハード	600			107
5	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	6,400	③教育文化	55	106
6	建設局	道路計画課	継続	★JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業	ソフト	7,000	③教育文化	56	113
7	経済局 都市局	商業労政課 都市計画課	継続	★(都)北街道線魅力空間創出事業	ソフト	5,100	⑤まちは劇場	171	95 104
8	都市局	緑地政策課	継続	★静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業	ソフト	5,000	⑤まちは劇場	79	106
9	都市局	交通政策課	継続	鉄道駅のバリアフリー化助成	ハード	42,000			105
10	都市局	緑地政策課	継続	鯨ヶ池周辺整備可能性調査	ソフト	3,000			107
計						523,910			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 1,254,368

4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

自転車利用計画推進事業 市民局・子ども未来局・都市局・教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,110				14,110
前年度予算額	18,538	1,522			17,016

目的	「静岡市自転車利用計画」に掲げた”世界水準の自転車都市”を目指し、民間と連携して、「健康の増進」、「環境負荷の軽減」、「利用の促進」、「賑わいの創出」、「モラルの向上」等を図り、健康長寿のまちづくりに寄与する。
----	---



事業概要	<p>自転車利用環境の向上に向けたハード、ソフト、マインドの各事業を実施する。</p> <p>○平成31（2019）年度主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルフェス開催 4,200千円 自転車サポーターと連携した体験型イベントを11月に池田東静岡公園で開催予定 ・静岡市自転車サポーター制度の推進 600千円 「自転車の駅」の増設やサポーター数の増加、官民連携による自転車利用の促進 ・自転車安全教育の推進 8,141千円 幼児期からの自転車安全教育充実に向けた勉強会・講習会を開催、市立こども園キックバイク台数増加、小学校における自転車安全教室など ・その他取り組み 1,169千円 ウェブサイト更新や啓発用マップ・冊子の増刷 など
------	---



【体験型イベント「サイクルフェス」】



静岡市の自転車生活情報サイト
しずおかサイクルシティ
SHIZUOKA CYCLE CITY



【こども園キックバイク講習】



【自転車の駅】



【サポーター主催イベント】



【安全教育勉強会の様子】

4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

交通安全施設整備事業（自転車走行空間ネットワーク整備事業）

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	261,000	125,400	99,500	14,000	22,100
前年度予算額	289,700	139,535	110,500	36,000	3,665

目的	自転車や歩行者が、安心して通行できる道路空間の提供
----	---------------------------

事業概要	<p>整備予定箇所の道路の現状（車道や歩道の幅）に応じた整備を進める。</p> <p>○主な整備手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用通行帯（自転車レーン） 外側線（白線）の外側（路肩）を青色で着色し、自転車の通行型路面表示を明示する。 ・車道混在（矢羽根型路面表示・自転車ピクトグラム） 自転車（車道左側端）の通行位置を明示する。 <p>○主な整備予定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（主）静岡清水線（清水区天王南付近） ・駿府町北安東線（葵区安東三丁目付近） ・南町一丁目下島線（駿河区石田三丁目付近） ほか
------	---

安全で快適な自転車走行空間を整備



自転車レーン



矢羽根型路面表示



自転車ピクトグラム

4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

(都) 北街道線魅力空間創出事業

経済局・都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	5,100	2,000			3,100
前年度予算額	11,200	5,000			6,200

目的
新静岡駅や呉服町などのまちなかから、市民文化会館や常葉大学に繋がる(都)北街道線において、沿線商店街や大学等と連携して道路空間を活用することで、「まちは劇場」の推進、「歩いて楽しいまち」の実現に資することを旨とする。

事業概要
(都)北街道線が持つ特性を活かした空間活用計画及び管理運営方針の作成を行う。

- 空間活用計画(案)及び管理運営方針(案)の作成業務 4,000千円
 - ・ワークショップの実施
(空間活用計画の検討、管理運営体制・計画の検討、維持管理方法の検討、社会実験の実施に向けた検討)
 - ・まちづくり協議会等の運営支援
(沿線商店街、大学等からなる協議会の設立・運営支援)
- 学生と連携した商店街振興事業 1,100千円
 - ・学生と商店街の協働イベント等の実施
 - ・定期的な意見交換会の開催

<(都)北街道空間活用イメージ>

フリースペースの確保等の歩道空間の活用



通行者が快適かつ安全に移動できる、歩行者中心の高質な通り



商店街、学生等の既存の活動継続、規模の拡大等



駿府城公園、歴史文化施設(計画中)、外堀の石垣等の歴史資源の活用



防災都市

<プロジェクトの目標>

いざという時にも自分の身を守り
互いに助け合うことで
**災害に強く、安心・安全
に暮らせるまちづくりの推進**



<成果目標>

「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」と
思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 57%(H26) → **75%(H34)**【50%(H29)】

「防災への取り組み」に満足している市民の割合
(市民意識調査)

満足している 39%(H26) → **70%(H34)**【35%(H29)】

①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

総務局、企画局、経済局、都市局、建設局、消防局、
上下水道局、教育局

実現すべき将来像

○従来の施策の充実・強化や甚大な津波想定への対応など、新たな課題に対する対策

平成29年度の主な事業の評価と検証

○津波避難施設整備では、津波避難場所のない地域の解消として、津波避難タワー2基が完成するとともに、漁港施設機能強化事業として、用宗漁港と由比漁港の耐震補強を完了した。
○住宅・公共施設(橋りょう含む)等の耐震化率が向上した。
○下水道施設津波対策事業では、長田浄化センター等の耐津波診断を実施し、対象17施設中、7施設の耐津波診断が完了した。
○消防力の充実・強化では、港北消防署庁舎移転が完了し、消防団員確保対策事業として、広報活動(カラーガード隊出演、市消防団公式Facebook活用)、制度の周知(大学及び商工会議所への説明会)等を実施した。
○緊急輸送路等の整備では、災害発生時の救命救急や物資輸送に資する道路改良を実施し、(主)山脇大谷線の一部供用開始した。

平成30年度の主な事業

津波避難施設の整備	公共施設等の耐震化	消防力の充実・強化

平成31年度の取組

○必要な時に自動起動し屋内において防災情報などの受信が可能な「緊急情報防災ラジオ」の再販売を実施し、情報伝達手段の多様化を図る。
○津波避難施設整備では、津波避難ビル事業費助成により津波避難が困難な地域の解消に努める。海岸保全施設整備では、用宗漁港海岸保全施設(胸壁)整備の早期完了を目指す。自助・共助の取組を強化するため、自主防災組織に対し支援を継続する。
○公共施設等の耐震化では、住宅、建築物等の耐震補強を行う申請者に対して補助金を助成することにより、耐震化を促進する。また静岡市橋りょう長寿命化計画(仮称)に基づき、橋りょうの耐震化を実施する。
○消防力の充実・強化では、カラーガード隊等の広報活動により女性や学生を中心とした若者の消防団入団を促進するとともに、新たな団員確保対策として機能別団員制度の導入に向けた調整を行い、地域防災力の充実・強化を図る。
○緊急輸送路等の整備では、(主)山脇大谷線、(主)井川湖御幸線、(主)清水富士宮線等の整備を推進することで防災機能の強化を図る。
○下水道施設津波対策では、浄化センター・ポンプ場の耐震・耐津波対策基本設計を行う。

情報伝達手段の多様化	公共施設等の耐震化	消防力の充実・強化

② 浸水・土砂災害対策の拡充等

総務局、都市局、建設局、上下水道局

実現すべき将来像

○国・県と連携し、重点整備（選択）による浸水・土砂災害対策を推進し、市民の生命を守り、安心して暮らせる防災体制づくりを確立

平成29年度の主な事業の評価と検証

○浸水対策では、静岡県浸水対策推進プランに基づき、(二)浜川及び(普)谷津沢川等の河川改修や、高橋雨水ポンプ場、広野地区雨水幹線等の下水道施設整備を着実に実施した。
 ○浸水対策地区41地区のうち、36地区で工事に着手し、そのうち21地区が完了しているが、一部の地区で遅延が生じている。
 ○内水ハザードマップ（清水南部地区）を対象エリア10,200世帯に作成・配布した。
 ○安倍川洪水ハザードマップを18万部、富士川洪水ハザードマップを4千部を作成・配布し、静岡市初となる洪水避難訓練を実施した。
 ○公園の土砂災害等防止対策事業では、八幡山公園の施設整備工事予定箇所6箇所のうち、1箇所の整備を行い、計3箇所の整備が完了したが、残りの箇所では地元調整に時間を要し遅延を生じている。

平成30年度の主な事業

浸水対策



河川改修・下水道施設整備（建設局）【136,000千円】
 上下水道局【3,880,911千円】
 巴川洪水ハザードマップ作成事業（総務局）【7,515千円】

土砂災害対策



急傾斜地崩壊対策事業（建設局）【18,000千円】
 土砂災害等防止対策事業（公園）（都市局）【127,000千円】

平成31年度の取組

○浸水対策では、引き続き(二)浜川、(普)和田川及び(普)谷津沢川の河川改修や、高橋雨水ポンプ場、広野地区の雨水幹線等の下水道施設整備を実施し、浸水被害の軽減を図る。
 ○内水ハザードマップは、服織・井宮地区と蒲原・由比地区を作成・配布し、対象区域である市街化区域全域が完了する。
 ○丸子川、興津川、庵原川、山切川に対応した「洪水ハザードマップ」を作成・配布し、浸水想定及び指定緊急避難場所などの防災情報を示すことで、洪水災害に伴う人的・物的被害の軽減を図る。
 ○引き続き関係局とハザードマップの記載内容を調整し、理解度向上のPR活動を進める。
 ○土砂災害対策では、急傾斜地崩壊対策事業を促進するため、県と連携し、早期に事業化されるよう働きかけを行うとともに、助成制度を多くの市民の皆さんに活用していただける様に、制度内容を広める。
 また、公園の土砂災害等防止対策事業では、平成31年度も引き続き八幡山公園及び西ノ谷公園において、地元調整を行い、施設整備工事を実施する。

浸水対策



河川改修・下水道施設整備（建設局）【81,000千円】
 上下水道局【4,534,285千円】
 洪水ハザードマップ作成事業（総務局）【13,040千円】

土砂災害対策



急傾斜地崩壊対策事業（建設局）【20,000千円】
 土砂災害等防止対策事業（公園）（都市局）【212,100千円】

③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

企画局、総務局、環境局、経済局

実現すべき将来像

○豊かな地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及
 ○次世代のエネルギーとして期待される「水素」を活用したまちづくり
 ○官民連携による清水港LNG基地を活用したエネルギー関連産業立地促進

平成29年度の主な事業の評価と検証

○産学官の取組の指針となる「静岡市水素エネルギー利活用促進ビジョン」及び「静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン」を策定した。
 ○水素エネルギーに対し市民・事業者の関心を高めるため、燃料電池自動車を購入し、公用車として運行するとともに、防災訓練での活用や各種イベントへの展示を通じ、広く市民への普及に取り組んだ。
 ○地球温暖化対策啓発事業では、再生可能エネルギーパークとして整備した「風電君」などの施設と市内の観光施設を組合せ幅広い年代層への啓発を行うことができた。

平成30年度の主な事業

静岡型水素タウン構想に向けた取組

対象機器例



燃料電池自動車
 写真提供：トヨタ自動車㈱

家庭用燃料電池
 写真提供：パナソニック㈱



静岡型水素タウン促進事業（環境局）【8,188千円】

静岡型水素タウン促進事業費
 助成（環境局）【12,000千円】

再生可能エネルギーの導入・普及促進



地球温暖化対策普及啓発事業（環境局）【11,200千円】

平成31年度の取組

○水素エネルギーを活用した新たな技術の開発等、静岡市水素エネルギー利活用促進ビジョンの推進に資する事業に補助金を交付し、静岡発の新たな技術の水平展開を図りSDGs未来都市で掲げる「経済」、「社会」、「環境」の三側面の相乗効果を創出し、静岡型水素タウンの促進を図る。
 ○中山間地域への再生可能エネルギー導入に向け、地域住民、NPO、エネルギー事業者等との勉強会の実施など、地域の特色を活かした再生可能エネルギーの導入に向けた取組みを進める。

静岡型水素タウン構想に向けた取組

対象機器例



燃料電池自動車
 写真提供：トヨタ自動車㈱

家庭用燃料電池
 写真提供：パナソニック㈱



静岡型水素タウン促進事業（環境局）【15,138千円】

静岡型水素タウン促進事業費
 助成（環境局）【8,800千円】

再生可能エネルギーの導入・普及促進



地球温暖化対策普及啓発事業（環境局）【11,228千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-①	災害対応力の強化と危機管理体制の確立

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
津波避難施設の整備									
1	総務局	危機管理課	継続	津波避難誘導設備設置事業	ソフト	2,985			47
2	総務局	危機管理課	継続	津波避難施設整備事業	ハード	84,400		176	47
3	経済局	水産漁港課	新規	由比漁港津波避難施設整備事業	ハード	5,400		177	100
公共施設等の耐震化									
4	都市局	建築指導課	継続	要緊急安全確認大規模建築物耐震事業費助成	ハード	75,641		178	109
5	都市局	建築指導課	拡充	建物の耐震化事業費助成	ハード ソフト	268,838		179	109
6	都市局	建築指導課	拡充	ブロック塀等耐震改修事業費助成	ハード	23,225		180	108
7	建設局	道路保全課	継続	橋りょう整備事業(道路橋の耐震補強及び老朽化対策)	ハード	2,614,100		181	114
8	建設局	河川課	継続	河川構造物耐震・津波対策事業	ハード	90,000		182	113
消防力の充実強化									
9	消防局	警防課	継続	消防団員確保対策事業	ソフト	2,459		183	117
10	消防局	財産管理課	継続	常備消防装備整備事業	ハード	302,601			116
11	消防局	財産管理課	継続	非常備消防装備整備事業	ハード	125,599			116
12	消防局	財産管理課	継続	消防団施設整備事業	ハード	172,088		184	116
防災・減災のための情報発信									
13	総務局	危機管理課	拡充	★防災マップ、洪水ハザードマップ作成事業	ソフト	22,340		185	47
14	総務局	危機管理課	新規	緊急情報防災ラジオ普及促進事業	ソフト	81,000		186	47
15	総務局	危機管理課	新規	防災情報共有システム整備事業(債務負担行為)	ソフト			187	-
緊急輸送路等の整備									
16	建設局	道路計画課	継続	★港湾、ICアクセス道路整備事業((主)井川湖御幸線ほか4路線)	ハード	1,606,000		122 123	113
17	建設局	道路計画課	継続	★国道1号静清バイパス整備促進事業	ハード	2,115,000		122 123	113
18	建設局	道路計画課	継続	★地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討事業	ソフト	6,900		122 123	113

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
19	都市局	建築指導課	継続	狭あい道路拡幅整備事業	ハード	87,159		188	108
20	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業(道路トンネル補修及び法 面対策事業)	ハード	989,860		189	114
21	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業(無電柱化事業)	ハード	24,000			114
その他									
22	総務局	危機管理課	継続	感震ブレーカー設置費助成	ソフト	20,000			47
23	上下水道局	下水道施設課	継続	下水道施設津波対策事業	ソフト	128,333			154
計						8,847,928			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 6,147,244

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

津波避難施設整備事業

総務局

(千円)

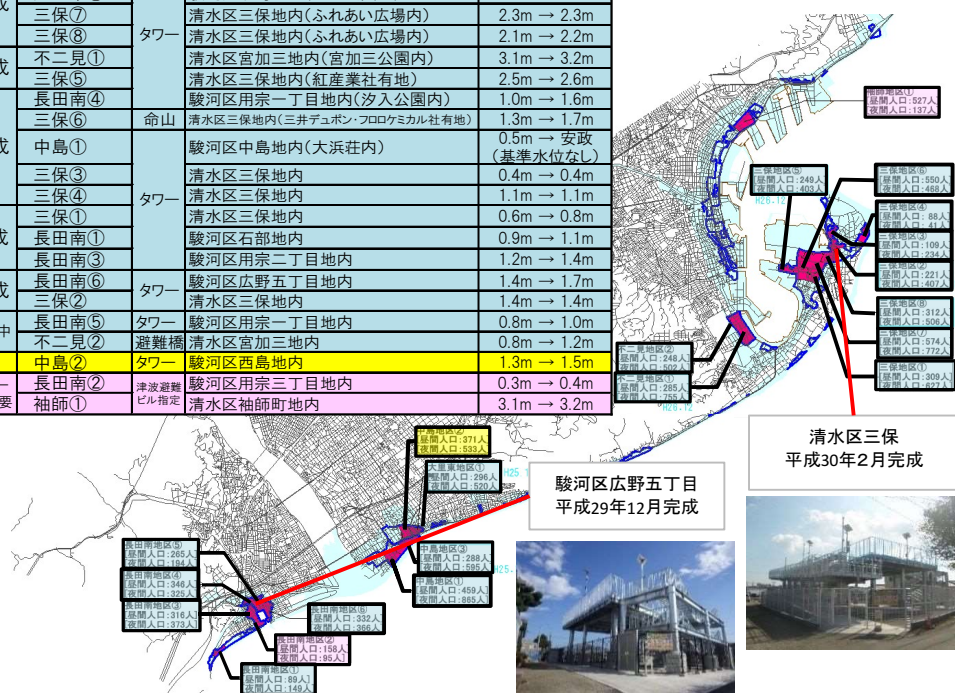
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/18)	市債	その他	
当初予算額	84,400	60,954	21,100		2,346
前年度予算額					

目的	津波の襲来から市民の生命を守るため、緊急避難場所を確保する。
----	--------------------------------

事業概要	<p>津波避難タワーの建設</p> <p>事業期間：平成31（2019）～平成32（2020）年度</p> <p>建設場所：駿河区西島</p> <p>完成時期：平成32（2020）年8月予定</p> <p>収容人数：540人</p>
------	--

【整備状況】

年度	エリア名	種類	建設地(予定地含む)	浸水深→基準水位	
1					
2	H25	完成	中島③	駿河区西島地内(大浜公園内)	1.8m → 2.6m
3			大里東①	駿河区下島地内(塩田公園内)	0.1m → 0.1m
4			三保⑦	清水区三保地内(ふれあい広場内)	2.3m → 2.3m
5			三保⑧	清水区三保地内(ふれあい広場内)	2.1m → 2.2m
6	H26	完成	不二見①	清水区宮加三地内(宮加三公園内)	3.1m → 3.2m
7			三保⑤	清水区三保地内(紅産業社有地)	2.5m → 2.6m
8			長田南④	駿河区用宗一丁目地内(汐入公園内)	1.0m → 1.6m
9			三保⑥	清水区三保地内(三井デュボン・フロロケミカル社有地)	1.3m → 1.7m
10	H27	完成	中島①	駿河区中島地内(大浜荘内)	0.5m → 安政 (基準水位なし)
11			三保③	清水区三保地内	0.4m → 0.4m
12			三保④	清水区三保地内	1.1m → 1.1m
13			三保①	清水区三保地内	0.6m → 0.8m
14	H28	完成	長田南①	駿河区石部地内	0.9m → 1.1m
15			長田南③	駿河区用宗二丁目地内	1.2m → 1.4m
16	H29	完成	長田南⑥	駿河区広野五丁目地内	1.4m → 1.7m
17			三保②	清水区三保地内	1.4m → 1.4m
18	H30	建設中	長田南⑤	駿河区用宗一丁目地内	0.8m → 1.0m
19			不二見②	清水区宮加三地内	0.8m → 1.2m
20	H31		中島②	駿河区西島地内	1.3m → 1.5m
21	津波分析シミュレーションにより建設不要		長田南②	駿河区用宗三丁目地内	0.3m → 0.4m
			袖師①	清水区袖師町地内	3.1m → 3.2m



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【新規】

由比漁港津波避難施設整備事業

経済局

(千円)

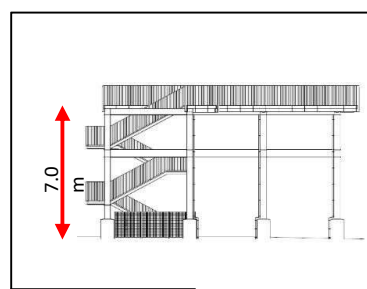
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	5,400	3,600	1,300		500
前年度予算額					

目的	由比漁港区域内における津波避難困難エリアを解消するため、漁港内にレベル2地震に対応した津波避難施設を整備し、安心・安全な就業環境を確保する。
----	--

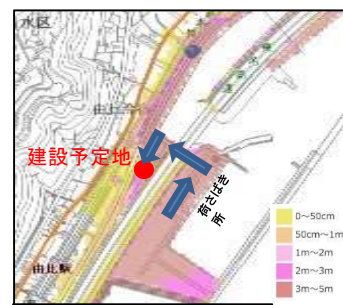
事業概要	1 事業期間	平成31（2019）年度～2020年度
	2 事業箇所	由比漁港
	3 整備内容	由比漁港津波避難施設整備
	4 事業内容	○平成31（2019）年度 設計業務、地質調査業務 ○2020年度 施設設置工事



(位置図)



避難施設イメージ図



整備後 避難方向

5 防災都市 ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立

要緊急安全確認大規模建築物耐震事業費助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	75,641	37,820			37,821
前年度予算額	21,406	10,703			10,703

目的	耐震改修促進法により、耐震診断が義務付けられた多数の者が利用する大規模建築物の所有者に耐震診断、補強計画及び耐震補強工事に係る費用の一部を支援することにより、民間建築物の耐震化を促進し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	--



事業概要	<p>○要緊急安全確認大規模建築物（※）の所有者に対し、耐震補強工事にかかる費用の一部を助成する。 75,641千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率（診断） 工事費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の5/6 （計画） 工事費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額4,110千円） （工事） 工事費用と基準額（50,300千円/m²×面積）を比較して少ない額の23%の2/3 <p>※要緊急安全確認大規模建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に重要な機能を果たす建物 ・不特定多数の者に危険が及ぶおそれのある建築物 ・原則3階以上、5,000m²以上の建築物
------	--

対象建築物

【耐震診断の義務化・耐震診断結果の公表】

要緊急安全確認大規模建築物

病院、店舗、旅館等の不特定多数の者が利用する建築物および学校、老人ホーム等の避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもの（次ページの表をご覧ください。）

幼稚園・保育園



小・中学校



老人ホーム



ホテル・旅館



美術館・図書館など



火薬類、石油類その他危険物を、一定量以上貯蔵または処理している大規模な貯蔵場等

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

建物の耐震化事業費助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、3/8ほか)	市債	その他	
当初予算額	268,838	225,404			43,434
前年度予算額	145,020	105,945			39,075

目的	民間が行う住宅、建築物の耐震対策を支援し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	--



事業概要	<p>【木造住宅耐震補強事業費助成】</p> <p>1 わが家の専門家診断事業（耐震診断） 23,160千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、無料で耐震診断を行うため専門家を派遣する。</p> <p>2 木造住宅耐震補強事業（補強計画・補強工事） 拡充 230,000千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、補強計画及び耐震補強工事を実施する所有者に対し、費用の一部を助成する。 ・補助率 … 補強計画と補強工事の工事費用の8/10（上限1,000千円）</p> <p>【特定建築物耐震事業費助成】 15,678千円 ○特定建築物（※）の所有者に対し、耐震診断、補強計画及び耐震補強工事にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率（診断）工事費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3 （計画）工事費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額4,110千円） （工事）工事費用と基準額（50,300千円/㎡×面積）を比較して少ない額の23%の2/3</p> <p>※特定建築物 ・災害時に重要な機能を果たす建物 ・多数の者に危険が及ぶおそれのある建築物 ・原則3階以上、1,000㎡以上の建築物</p>
------	--



補強前



補強中



補強後



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

ブロック塀等耐震改修事業費助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	23,225	11,612			11,613
前年度予算額	6,235	3,117			3,118

目的	地震による倒壊、転倒の危険性のあるブロック塀等の耐震対策を支援し、倒壊等による被害を防止し、公共の安全を確保する。
----	---



事業概要	<p>避難路沿いのブロック塀等（※）の撤去及び緊急輸送路等沿いのブロック塀等の改善にかかる費用の一部を助成する。</p> <p>1 撤去 拡充 22,100千円 ○倒壊や転倒の危険性のある避難路沿いのブロック塀等の撤去にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率… 工事費用と基準額（20,000円/m）を比較して少ない額の2/3（上限100千円）</p> <p>2 改善 1,125千円 ○緊急輸送路等沿いに撤去後に安全な構造の塀等の新設にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率… 工事費用と基準額（38,400円/m）を比較して少ない額の2/3（上限250千円）</p> <p>※ブロック塀等 補強コンクリートブロック造を含む組積造の塀</p>
------	--



【改善前】



【改善後(撤去・改善)】

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

橋りょう整備事業（道路橋の耐震補強及び老朽化対策）

建設局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	2,614,100	1,172,200	1,176,800		265,100
前年度予算額	1,739,650	660,450	950,800		128,400

目的	大規模災害に対し橋桁の落下などの倒壊が起こらないよう、緊急輸送路や孤立集落対策路線を中心に耐震補強を実施するとともに、点検で確認された損傷を早期に補修することで、道路橋の長寿命化を図る。
----	---

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 道路橋耐震補強事業 935,940千円 ○橋脚をコンクリート等により巻立てて補強 ○地震時に橋桁が落下しないよう落橋防止装置を設置 ほか 2 道路橋老朽化対策事業等 1,488,160千円 ○腐食鋼部材塗替えによる長寿命化 ○コンクリート部分の断面補修による長寿命化 ほか 3 道路橋点検 190,000千円 ○5年ごとの法定点検の実施 <p>主な整備予定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（国）362号（安西橋） ○（県）入江富士見線（桜橋） ほか
------	---

1 耐震補強事業(橋脚巻立て)



2 老朽化対策事業(鋼桁塗替え)



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

河川構造物耐震・津波対策事業

建設局

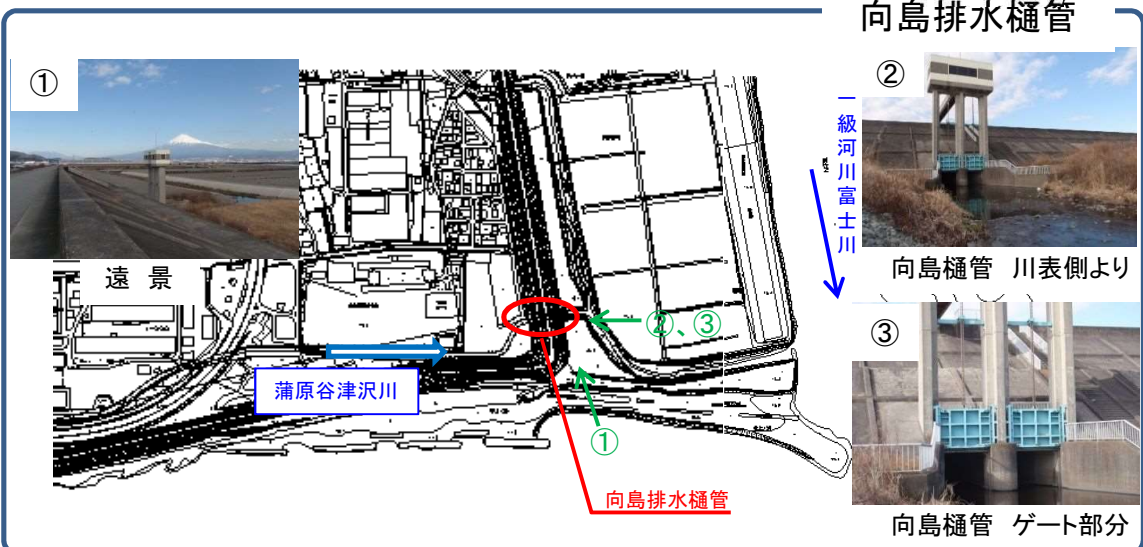
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	90,000	16,500	67,500		6,000
前年度予算額	90,000	49,500	40,500		

目的	市が管理している重要な河川構造物の耐震化・津波対策を進め、地震、津波に対する被害軽減を図る
----	---

事業概要	1 (二) 浜川浜川水門の水門補強工及び嵩上げ工 (駿河区西島) 30,000千円 2 向島排水樋管の耐震補強 (清水区蒲原) 60,000千円
------	---

【事業実施予定箇所図】



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

消防団員確保対策事業

消防局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,459				2,459
前年度予算額	2,459				2,459

目的	地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。
----	---



事業概要	<p>本市において、消防団員の確保は喫緊の課題であり、これまでの実施事業の更なる浸透及び発展と併せ、新たな入団促進対策として、機能別団員制度導入に向けた調整を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 機能別団員制度導入に向けた調整 2 広報活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演 【出演予定】1月消防出初式 ほか年間13回を予定 ○消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用 【発信内容】消防団活動・消防防災の啓発に関する情報など 3 制度の周知 <ul style="list-style-type: none"> ○学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会の実施 【説明会】4～5月…商工会議所 10～11月…大学・専門学校 ○消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会の実施 【説明会】4～5月…商工会議所
------	--

【カラーガード隊による広報活動】

【学生団員による大学説明会】



【平成30年11月 大学学園祭】



【平成30年1月 消防出初式】



【平成30年11月 大学学園祭】

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

消防団施設整備事業

消防局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	172,088		167,800		4,288
前年度予算額	120,250		110,800		9,450

目的	静岡市消防団施設整備計画に基づき消防団施設を建替え、地域防災力の充実強化を図る。
----	--



事業概要	<p>○消防団庁舎建設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡第25分団（広野） 建設・解体工事 ・静岡第31分団（谷田） 建設・解体工事 ・清水第19分団（河内） 建設・解体工事 ・静岡第27分団（牧ヶ谷） 設計・地質調査・測量・用地取得 ・清水第16分団（承元寺町） 設計・地質調査・測量・用地取得 ・清水第16分団（興津本町） 設計・地質調査
------	---



静岡第25分団(広野)



静岡第31分団(谷田)



清水第19分団(河内)



静岡第27分団(牧ヶ谷)



清水第16分団(承元寺町)



清水第16分団(興津本町)

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

防災マップ・洪水ハザードマップ作成事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	22,340	9,100			13,240
前年度予算額	7,515				7,515

目的	洪水による浸水が想定される区域や、地震、津波、土砂災害などの被害が想定される箇所を示すとともに、指定避難所やその他の必要な防災情報を示すことで、防災意識の向上及び人的・物的被害の軽減を図る。
----	---

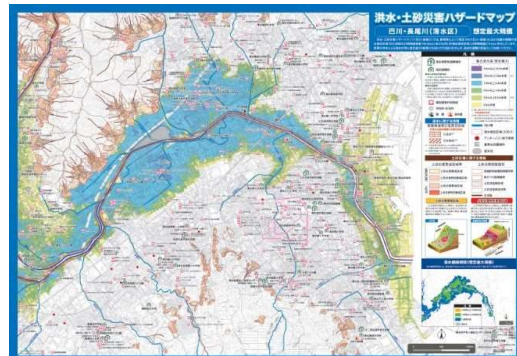


事業概要	洪水ハザードマップの作成、配布 13,040千円 ○実施内容 ・対象河川：丸子川、興津川、庵原川、山切川 新規 ・ハザードマップ配布時期：平成32(2020)年1月～(予定) ・配布対象：浸水が想定される区域及び周辺住民等 ・作成部数：69,000部
	静岡市防災マップの作成、配布 拡充 9,300千円 ○実施内容 ・防災マップ配布時期：平成32(2020)年3月～(予定) ・配布対象：出前講座参加者及び新規転入者等 ・作成部数：40,000部

洪水ハザードマップ

【掲載内容】

- ・対象河川とその流域に発生する洪水による浸水被害が想定される箇所
- ・最大浸水深(想定最大)
- ・風水害緊急避難場所や指定避難所等
- ・土砂災害に関する情報



- ・A1版1枚のため、広範囲の浸水想定区域を確認することができます。



静岡市防災マップ

【掲載内容】

- ・地震、津波、土砂災害などの被害が想定される箇所
- ・指定緊急避難場所や指定避難所、津波避難施設等
- ・その他必要な防災情報

- ・新規転入者にも配布することで、地域特性の把握や防災意識の向上を図ります。
- ・市内全域の地図が冊子になっています。

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【新規】

緊急情報防災ラジオ普及促進事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	81,000	20,000		20,007	40,993
前年度予算額					

目的	コミュニティFM放送局と連携し、全国瞬時警報システム（J-ALERT）による地震、津波や気象警報などの緊急情報を伝えるため、専用の「緊急情報防災ラジオ」を導入し情報伝達の多重化と強化を図る。
----	---

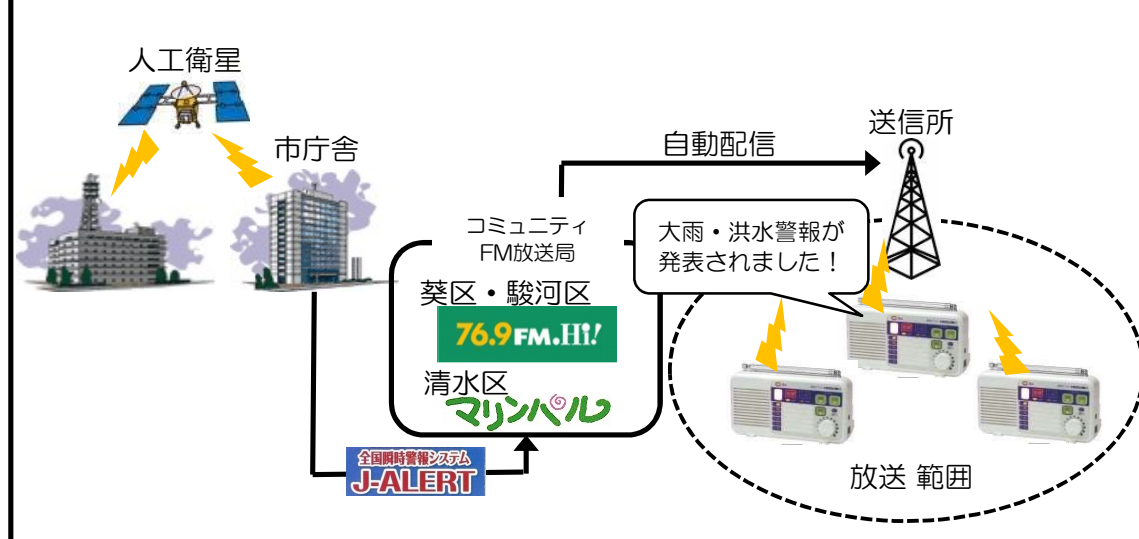


事業概要	<p>緊急情報防災ラジオの製造、販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ販売時期：平成31（2019）年10月～（予定） ・ 販売価格：1台 2,000円（予定） ・ 製造台数：10,000台
------	--

緊急情報防災ラジオとは

全国瞬時警報システム（Jアラート）で配信される地震、津波、大雨・洪水警報などの緊急情報をコミュニティFM放送局（FM・Hi！（エフエムハイ）、マリンパル）の放送を使用し、市民の皆さんにお知らせするラジオです。

Jアラートとの自動連動により迅速に緊急情報をお知らせします！



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【新規】

防災情報共有システム整備事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	(48,000)		(48,000)		(0)
前年度予算額					

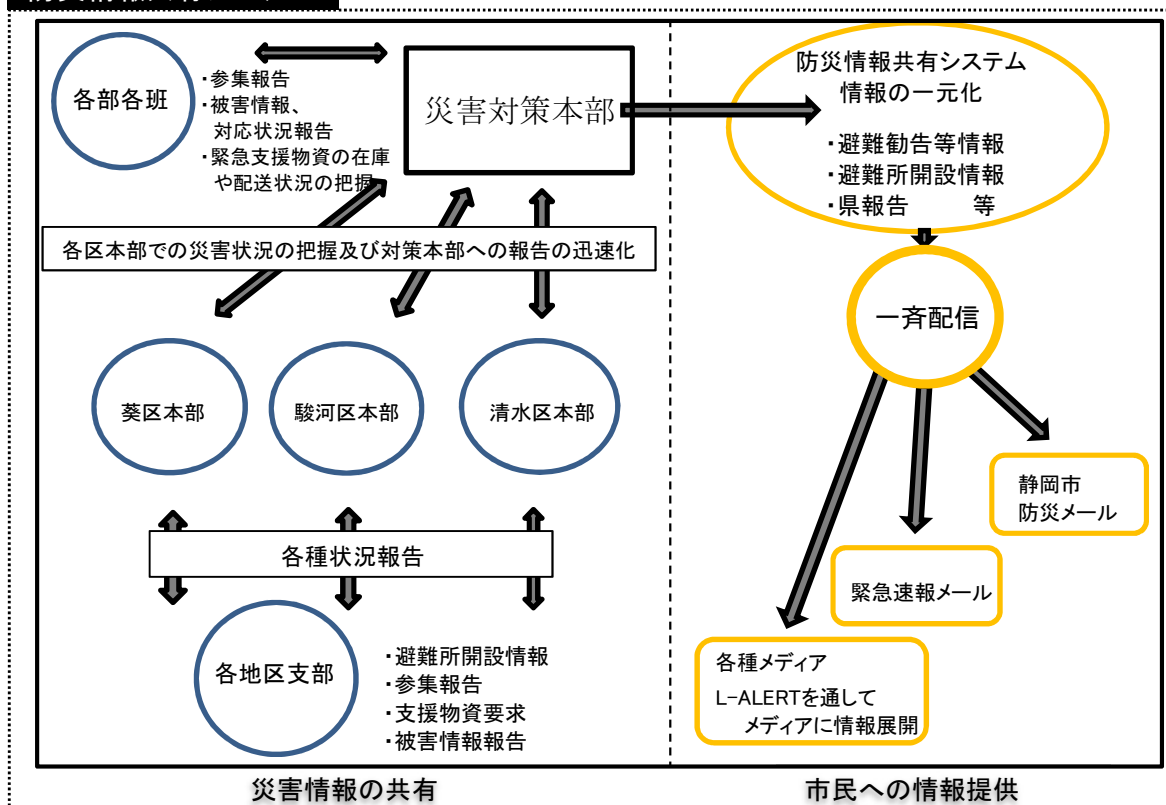
※債務負担行為

目的	市災害対策本部、各区災害対策本部及び各地区支部に防災情報共有システムを整備し、防災情報を一元的に管理共有することで、災害対応を迅速的確に行う。
----	---



事業概要	<p>市災害対策本部、各区災害対策本部及び各地区支部の間の報告や情報の共有をシステムにより行うとともに、これまで避難勧告等の発表や緊急速報メールの配信など、個別に実施してきた市民等への災害情報の提供を一元的に実施する。</p> <p>開発期間：平成31（2019）～平成32（2020）年度 ○平成33（2021）年度より運用開始予定</p>
------	---

防災情報共有システム



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

狭あい道路拡幅整備事業

都市局

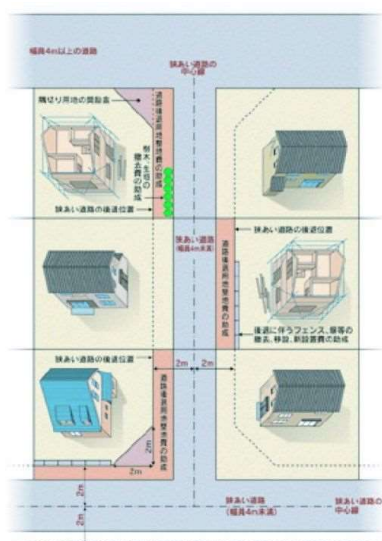
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	87,159	43,579			43,580
前年度予算額	80,000	40,000			40,000

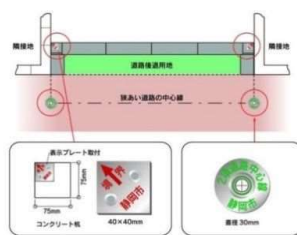
目的	<p>【狭あい道路拡幅整備事業】狭あい道路の拡幅整備を推進することにより、ゆとりある生活環境の確保と市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>【指定道路台帳整備事業】道路に関する情報の適正な管理を図り、閲覧に供することにより、建築に係る業務の円滑化を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>1 狭あい道路拡幅整備事業 72,149千円</p> <p>○補助対象となる道路に面する敷地において、拡幅事業を実施し、その道路拡幅用地を市に寄付する者に対し、助成金及び奨励金を交付する。</p> <p>○予定件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境界確定のための測量等委託 41件 ・ブロック塀等の撤去費用等助成 42件 ・道路拡幅用地の舗装修繕 45件 <p>2 指定道路台帳整備事業 15,010千円</p> <p>○建築基準法に規定する各種道路の指定又は判定等の業務により作成された道路情報を適正に管理し、窓口業務での閲覧等に活用する。</p> <p>○インターネットによる道路情報の公開と指定道路図情報システムのデータの更新及び精査作業する。</p>
------	---



狭あい道路拡幅整備事業略図



寄付地の修繕概要



インターネット公開



狭あい道路拡幅整備事業
実施前



狭あい道路拡幅整備事業
実施後

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

道路自然災害防除事業（道路トンネル補修及び法面^{のりめん}対策事業） 建設局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5. 5/10、1/2、3. 4/10)	市債	その他	
当初予算額	989, 860	405, 930	347, 900	37, 325	198, 705
前年度予算額	864, 490	317, 620	285, 600	41, 300	221, 170

目的	緊急輸送路等の老朽化したトンネルの補修や、自然災害に備えた法面対策等を実施し、安全で安心な道路環境を確保する。
----	---

事業概要	<p>1 道路トンネル補修事業 415, 000千円 ○耐用年数を超過し、早急に更新が必要なトンネル設備の更新工事を実施。 ・（国）150号（新日本坂トンネル） ほか</p> <p>2 道路法面対策事業 574, 860千円 ○道路防災点検等によって緊急・早期に対策が必要とされた法面の対策設計・工事を進める。 ・（主）南アルプス公園線（葵区口坂本） ・茂野島高山2号線（清水区茂野島） ほか</p>
------	--

1 道路トンネル補修事業



2 道路法面対策事業



（主）南アルプス公園線（葵区口坂本）
過去の降雨等の影響により発生した変状の拡大を防止するため、法面対策を実施する。



茂野島高山2号線（清水区茂野島）
降雨等による落石を未然に防止するため、法面対策を実施する。

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-②	浸水・土砂災害対策の拡充

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
浸水災害対策									
1	総務局	危機管理課	拡充	★静岡市防災マップ、洪水ハザードマップ作成事業	ソフト	22,340		185	47
2	建設局 上下水道局	河川課 下水道計画課 下水道建設課	継続	浸水対策推進プラン	ハード ソフト	4,615,285		191	113 154
土砂災害対策									
3	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業費負担金	ハード	65,000			112
4	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業	ハード	20,000		192	112
その他									
5	都市局	公園整備課	継続	土砂災害等防止対策事業(公園)	ハード	212,100		193	107
計						4,934,725			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 4,234,426

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充等

浸水対策推進プラン

建設局・上下水道局

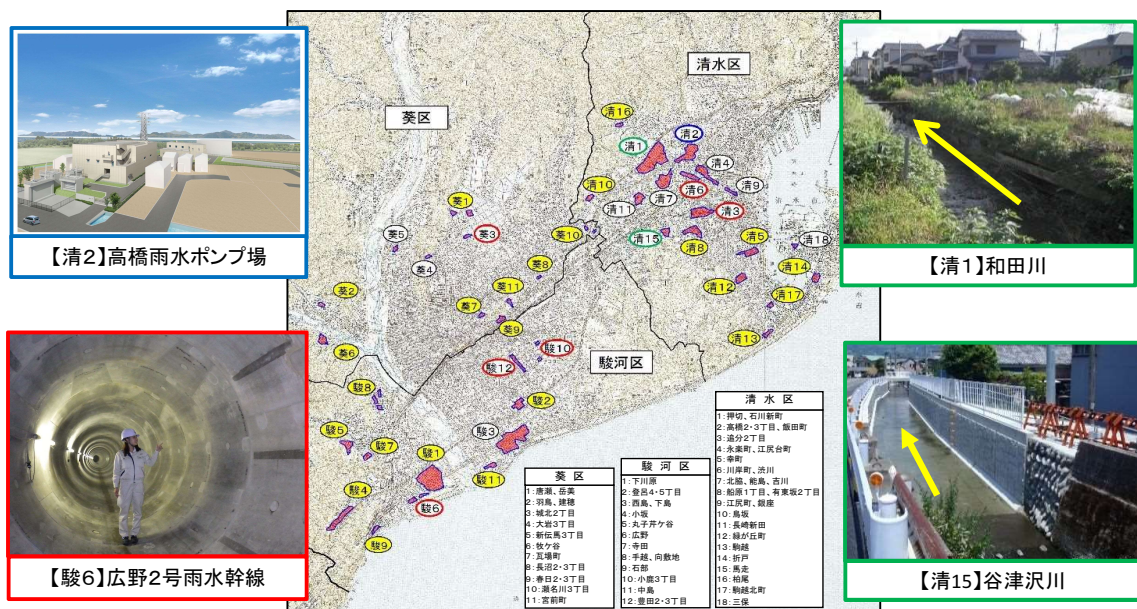
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源、 損益勘定留保 資金
		国・県支出金 (1/2、5.5/10)	市債、企業債	その他	
当初予算額	4,615,285	1,410,000	3,105,500		99,785
前年度予算額	4,016,911	1,021,250	2,885,900		109,761

目的	ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守る。
----	-----------------------------------

事業概要	1 河川事業 81,000千円 ○浸水対策推進プランに基づく河川改修事業の実施 ・谷津沢川改修（清15 馬走地区） ・和田川改修（清1 押切、石川新町地区）
	2 下水道事業 4,534,285千円 ○雨水ポンプ場、雨水幹線などの整備 ・高橋雨水ポンプ場建設（清2 高橋二・三丁目、飯田町地区） ・広野地区雨水渠築造工事（駿6 広野地区）ほか

【浸水対策推進プラン 事業実施予定箇所図】



平成31(2019)年度実施予定箇所(河川:2地区、下水:7地区)	
○	: 河川改修工事 (2地区)
○	: 雨水ポンプ場整備 (1地区)
○	: 雨水幹線等整備 (6地区)
●	: 完了地区 (H29末 21地区、H30見込み 3地区)

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充等

急傾斜地崩壊対策事業

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,000				20,000
前年度予算額	18,000				18,000

目的	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、災害の未然防止を図る。
----	---



事業概要	<p>「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき実施する事業</p> <p>1 県の対策工事を促進するための測量 ほか 10,000千円 ○県が急傾斜地崩壊危険区域を指定するために必要な測量業務 ・ 葵区梅ヶ島六郎木、葵区井宮町 ほか</p> <p>2 既成宅地防災施設設置費助成制度 10,000千円 ○保全人家4戸以下の危険箇所に住する住民が行う土砂災害防止施設の設置費用を助成 ・ 補助率 工事費の1/2以内 ・ 補助額 最大5,000千円</p>
------	--

既成宅地防災施設設置費助成制度の実施例(H27施工箇所: 葵区有永)



着手前



完成後

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充

土砂災害等防止対策事業（公園）

都市局

(千円)

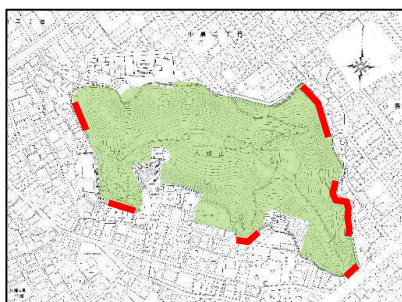
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	212,100		212,100		
前年度予算額	127,000		127,000		

目的	公園内の斜面の崩壊による周辺家屋への土砂災害を防止するため、土砂崩壊対策施設を整備。
----	--

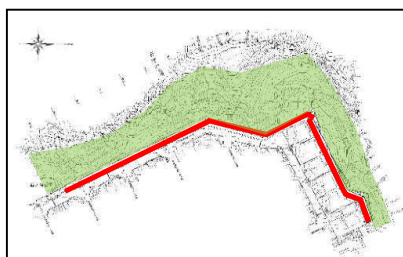


事業概要	土砂災害による被害を防止し、都市の安全性を向上	
	<p>整備内容 土砂災害対策施設整備</p> <p>1 八幡山公園 93,400千円 ○整備延長約300m ○駿河区八幡山地内 ○事業期間 平成24年度～2020年度</p> <p>2 西ノ谷公園 118,700千円 ○整備延長約320m ○清水区草薙地内 ○事業期間 平成26年度～平成31（2019）年度</p>	

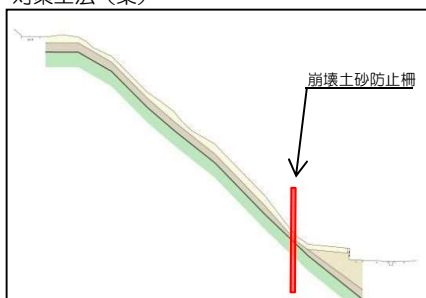
八幡山公園 対策予定箇所平面図



西ノ谷公園 対策予定箇所平面図



対策工法（案）



対策工事イメージ



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-③	再生可能エネルギーの導入・普及促進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
再生可能エネルギーの導入・普及促進									
1	環境局	環境創造課	継続	地球温暖化対策普及啓発事業	ソフト	11,228		195	69
静岡型水素タウン構想に向けた取り組み									
2	環境局	環境創造課	拡充	静岡型水素タウン促進事業	ソフト	15,138		196	69
3	環境局	環境創造課	継続	静岡型水素タウン促進事業費助成	ソフト	8,800		197	69
計						35,166			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 34,388

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

地球温暖化対策普及啓発事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,228			10,000	1,228
前年度予算額	11,200			10,000	1,200

目的	家庭、学校、会社など様々な場面で、地球温暖化防止のための取組を多くの人々が行うことができるよう、普及啓発活動を実施する。
----	--

事業概要	CO ₂ 排出量削減に向け、より多くの市民に、温暖化防止や省エネへの取組の意識醸成を図るための普及啓発を実施
	<p>1 国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発 10,000千円</p> <p>○事業者との協働による「COOL CHOICE」のPR 【実施予定】 7月～12月 IAIスタジアム日本平、清水マリンパーク 等 広く市民等を対象にしたPRを実施</p> <p>2 静岡市次世代エネルギーパーク関連施設等を活用した普及啓発 1,228千円</p> <p>○次世代エネルギーパークを活用したバスツアーの実施 ○日本平動物園での環境学習イベント ○事業者と連携した省エネキャンペーンイベント</p>

平成30年度 事業例

【清水エスパルスと連携したCOOL CHOICEの普及啓発】

【市内各所における温暖化対策啓発】



COOL CHOICEチャレンジPR
(8月:IAIスタジアム日本平)



平成のエジソンは君だコンテスト表彰



温暖化防止普及啓発イベント



COOL CHOICE PR



COOL CHOICEラッピングバス
(平成30年8月～平成31年1月 静岡市内運行)



温暖化防止普及啓発イベント

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

【拡充】

静岡型水素タウン促進事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	15,138				15,138
前年度予算額	8,188				8,188

目的	<p>本市の特性を踏まえた水素エネルギーの先駆的な利用方法を図り、水素エネルギーの需要拡大に向けた取組を促進する。 また、他都市にも水平展開可能な、人口減少対策にも資する魅力的なまちづくり「静岡型水素タウン」を推進する。</p>
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 静岡市水素エネルギー利活用促進協議会の運営 538千円 水素エネルギーに関し知見を有する学識経験者、企業等で構成される同協議会を運営するための経費 2 「静岡型水素タウン」普及啓発活動経費 1,600千円 ○水素・燃料電池展の開催 ○静岡科学館る・く・るでのテーブルサイエンス及び科学教室の開催（夏休み期間中） 3 静岡型水素タウン新技術開発等促進事業補助金 13,000千円 市域内における水素エネルギーの製造、運搬、利用等に係る調査研究及び新技術開発に取り組む事業に対して助成 新規
------	--

【共通の視点】

水素社会に対する
市民・事業者の受容性喚起

エネルギー産業の
創出

温室効果ガスの
排出削減

安心・安全な
まちづくり



水素・燃料電池展(青葉シンボルロード)



静岡科学館る・く・るによるテーブルサイエンス



水素ステーション静岡

水素需要の拡大を図り
「静岡型水素タウン」を推進

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

静岡型水素タウン促進事業費助成

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,800				8,800
前年度予算額	12,000				12,000

目的	水素エネルギーを活用する機器の普及拡大により、市民・事業者の水素エネルギーに対する意識醸成を図るとともに、温室効果ガスの削減を図りながら、「静岡型水素タウン」を推進する。
----	---

事業概要	<p>○事業内容 家庭用燃料電池、業務用燃料電池及び燃料電池自動車を購入した個人や事業者に対して、導入に係る費用の一部を助成</p> <p>○補助対象・補助額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭用燃料電池 … 補助額：3万円 ・業務用燃料電池 … 補助額：国補助額の1/2又は50万円 ※いずれか少ない額 ・燃料電池自動車 … 補助額：10万円 <p>※国の補助制度と併用可</p>
------	---

補助対象機器例



家庭用燃料電池 エネファーム
(パナソニック(株)HP「エネファームとは」より)



業務用燃料電池
(写真提供：富士電機(株))



燃料電池自動車 MIRAI
(写真提供：トヨタ自動車(株))



燃料電池自動車 クラリティ
(写真提供：本田技研工業(株))

共生都市

<プロジェクトの目標>

あらゆる人々が**多様な個性**
を尊重し
互いに支え合い自然を愛し、
共に暮らすまちづくりの推進



<成果目標>

「障がい者や高齢者にやさしいまち」だと思っ
ている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 42%(H27) → **70%(H34)**【**38%(H29)**】

「静岡市のために、何か役に立ちたい」と思っ
ている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 70%(H27) → **80%(H34)**【**65%(H29)**】

①多様な人々による共生

市民局、企画局、観光交流文化局、保健福祉長寿局、
子ども未来局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

○家康公の駿府大御所時代より継承されている異なる価値観を受け入れることができる潜在的な市民性と風土を活かしながら、多様性を社会の豊かさと捉え、地域の活力につなげることで、お互いの違いを認め合い、だれもが安心して暮らせる共生都市の実現

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 「英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト」では、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプを実施し、実践的な英語に触れる機会を設けることができた。
- 「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」では、シンポジウムやメンターカフェ等の関連事業を実施し、「女性活躍推進に取り組むきっかけとなった」等の成果を得た。
- 「地域交通弱者対策事業」では、2地区(駒越地区・長田西地区)に補助金を交付し、地域が主体となって交通弱者の移動手段を確保することができた。

平成30年度の主な事業

多文化共生・国際交流の推進



英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(教育局)【253,381千円】

男女共同参画の推進



しずおか女子きらっ☆プロジェクト(市民局ほか)【16,743千円】

バリアフリーの推進



地域交通弱者対策事業費助成(都市局)【3,800千円】

駿河共生地区の整備



生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業(保健福祉長寿局)【19,800千円】

平成31年度の取組

- 「英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト」では、地域人材「GET」のより効果的な活用の推進や、イングリッシュキャンプなど授業以外で英語に接する機会を設けることなどにより国際的に活躍できる子どもの育成に取り組む。
- 「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」では、官民連携、6局8課により引き続き各種事業を実施する。
- 「地域交通弱者対策事業」では、既存の2地区の継続に加え、新たに1地区の事業化に向け取り組む。
- 「生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業」では、共生事業、移住支援事業等に加え、地域多世代交流型住宅着工に向けた準備に取り組む。

多文化共生・国際交流の推進



英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(教育局)【246,975千円】

男女共同参画の推進



しずおか女子きらっ☆プロジェクト(市民局ほか)【14,617千円】

バリアフリーの推進



地域交通弱者対策事業費助成(都市局)【4,000千円】

駿河共生地区の整備



生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業(保健福祉長寿局)【18,809千円】

②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

環境局、企画局、市民局、観光交流文化局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

- 豊かな自然環境・生態系を維持
- モニタリングを継続的に実施するとともに、自然を守る人材、地域の核となる人材を育成
- 地域団体、企業、行政の連携を図り、地域資源を磨き上げ、地域振興の取組を推進

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業では、実行計画に基づき①自然環境の保全、②調査・教育、③地域経済の発展に係る事業を実施した。
- 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業では、地域等と連携したトレイルランニングコース開設記念事業や送迎バス付き事業等を実施し利用者の高い満足度が得られた。
- あさはた緑地（第1工区）整備事業では、公園施設整備工事、建築物実施設計（農業体験棟、炊事場）を計画通り実施した。

平成30年度の主な事業

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進



南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業（環境局）【16,059千円】



南アルプス環境調査（環境局）【9,500千円】

里地・里山の機能保全



あさはた緑地（第1工区）整備事業（都市局）【195,000千円】



南アルプス登山道整備事業（経済局）【10,000千円】



トレイルランニングコースの設置及び活用（教育局）【4,672千円】

平成31年度の取組

- 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業では、実行計画に基づき引き続き事業を実施するとともに、ユネスコエコパーク登録5周年を迎えるため構成市町と連携し記念事業を実施する。
- 中央新幹線建設事業による自然環境への影響を最小限とするため、継続して環境調査に取り組む。
- 南アルプス登山道整備事業では、登山者の安全を確保するため、登山道・山小屋の調査及び修繕を実施する。
- 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業では、さらなる活用を進めるため、トレイルランニングコースの延伸整備や送迎バス付き事業を実施するとともに、新館宿泊棟と食堂棟の改修工事を実施する。
- あさはた緑地（第1工区）整備事業では、引き続き公園施設整備工事を実施するとともに、建築工事（センターハウス、休憩所）を実施する。

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進



南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業（環境局）【12,530千円】



南アルプス環境調査（環境局）【9,000千円】

里地・里山の機能保全



あさはた緑地（第1工区）整備事業（都市局）【248,000千円】



南アルプス登山道整備事業（経済局）【7,000千円】



南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業（教育局）【401,141千円】

③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

市民局、企画局、各区役所、観光交流文化局、環境局、保健福祉長寿局、子ども未来局、経済局、都市局、教育局

実現すべき将来像

- 市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業では、2課程17講座を実施し、354人の修了生を輩出するとともに、修了生人材バンク「ここにわネット」を構築した。
- 「大学連携による地域課題解決事業」では、しずおか中部連携中核都市圏の連携事業として実施し、学生の地元意識の醸成、地元就職に繋がってきている。
- 「小島生涯学習交流館建設事業」では、ワークショップによる地域住民及び施設利用者の意見が反映された施設を建設し、新たな「地域の人づくり」の拠点となった。

平成30年度の主な事業

人をつくる仕組の推進



「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業（市民局ほか）【26,485千円】



高等教育のあり方検討推進事業（企画局）【3,093千円】

人を活かす仕組の推進



「市民活動支援システム」運用事業（市民局）【3,280千円】



生涯学習交流館・児童館建設事業（市民局・子ども未来局）【373,930千円】

平成31年度の取組

- 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業では、一層意欲のある受講生の確保に取り組むとともに、新たに「高校生まちづくりスクール」を開設し、次代を担う高校生も含め、幅広い地域人材養成に取り組む。
- 高等教育のあり方検討推進事業では、高等教育あり方検討会で引き続き議論を行うとともに、市民への周知・啓発を行う。
- 「市民活動支援システム」活用推進事業では、自分の住む地域で行われているまちづくり活動への市民の参加を促すための情報を提供していく。
- 「学びの場+地域コミュニティによるまちづくり活動の場」である生涯学習施設について、安心安全に利用できるよう継続して施設整備に取り組む。

人をつくる仕組の推進



「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業（市民局ほか）【19,931千円】



高等教育のあり方検討推進事業（企画局）【5,939千円】

人を活かす仕組の推進



「市民活動支援システム」活用推進事業（市民局）【2,865千円】



生涯学習交流館建設事業（市民局）【541,300千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-①	多様な人々による共生

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
多文化共生・国際交流の推進									
1	教育局	学校教育課 教育センター	拡充	★英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(グローバル人材の育成)	ソフト	246,975		162	122
2	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	★オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	ソフト	60,000			67
3	教育局	教育センター	新規	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	ソフト	3,093			125
4	市民局	男女参画・多文化 共生課	継続	多文化共生推進事業	ソフト	1,600			52
男女共同参画の推進									
5	市民局 ほか関係局	男女参画・多文化 共生課 ほか関係課	継続	しずおか女子きらっ☆プロジェクト	ソフト	14,617		201	52
6	市民局	男女参画・多文化 共生課	新規	LGBTフレンドリー推進事業	ソフト	3,442		202	52
バリアフリーの推進									
7	都市局	交通政策課	継続	地域交通弱者対策事業費助成	ソフト	4,000		203	105
駿河共生地区の整備									
8	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	★生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	18,809	④健康長寿のまち	138	72
9	保健福祉長寿局	障害福祉企画課 (障害者福祉課)	新規	障害者福祉施設等整備事業(生活介護事業所)	ハード	86,100			74
その他									
10	保健福祉長寿局	福祉総務課 障害福祉企画課 (障害者福祉課) 高齢者福祉課 精神保健福祉課	拡充	★成年後見制度利用促進事業	ソフト	20,957		145	72
11	保健福祉長寿局	障害福祉企画課 (障害者福祉課)	新規	施設管理運営事業(富士見エリア共同駐車場整備)	ハード	12,774			74
計						472,367			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 349,254

6 共生都市 ①多様な人々による共生

しずおか女子きらっ☆プロジェクト

市民局ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	14,617	3,430			11,187
前年度予算額	16,743	4,576			12,167

目的	女性の“活躍したい”希望がかなうまちを実現し、地域経済・社会の持続的成長を図るため、「女性活躍」に関する企業の取り組みを促進するとともに、活躍したい女性への支援を行う。
----	--



事業概要	<p>1 企業の取組をバックアップ、やる気を応援 4,869千円 ○官民連携会議の開催 ○女性活躍ブランド認定の実施 ほか</p> <p>2 女性の「活躍したい！」を応援 9,748千円 ○民間企業と連携して女性活躍異業種交流会を開催 ○メンターカフェの開催 ほか</p> <p>◆本プロジェクトは、関係6局（総務局、企画局、市民局、子ども未来局、経済局、建設局）が連携して取り組みます。</p>
------	--

女性が企画・開発した
ステキな商品を認定！



先輩女性の
経験談が聞ける！



しずおか女子きらっ☆ブランド認定



女子きらっ☆メンターカフェ

6 共生都市 ①多様な人々による共生

【新規】

LGBTフレンドリー推進事業

市民局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,442				3,442
前年度予算額					

目的	性の多様性の無理解からLGBTなど性的少数者への偏見や差別が生じているため、生活に困難を抱える当事者が暮らしやすくなるよう理解促進や困難解消に向けた取組を行い、共生都市及びSDGsの目標「ジェンダー平等」を実現する。
----	--



事業概要	<p>1 「性の多様性」の理解促進 2,912千円 「世界に輝く静岡の実現」を目指し、オリンピック前年となる平成31（2019）年度にLGBTに優しいまちとして、職員研修及び市民への啓発を行い、「性の多様性」への理解を深め偏見・差別を解消する。 ○講演会の開催（基礎知識） 1回 ○職員研修（基礎知識・窓口対応） 2回 ○パンフレット制作（当事者の声・事例・相談窓口）</p> <p>2 当事者の居場所づくり 530千円 毎月1回テーマに沿って、講演会及び交流会を開催し、当事者や家族への支援、理解者育成、情報共有を行い、当事者の孤独や困難な状況を解消できる場をつくる。 ○時期 月1回 ○場所 市内公共施設 ○人数 15～20人／回</p>
------	---



講演会の開催



パンフレットの制作

6 共生都市 ①多様な人々による共生

地域交通弱者対策事業費助成

都市局

(千円)

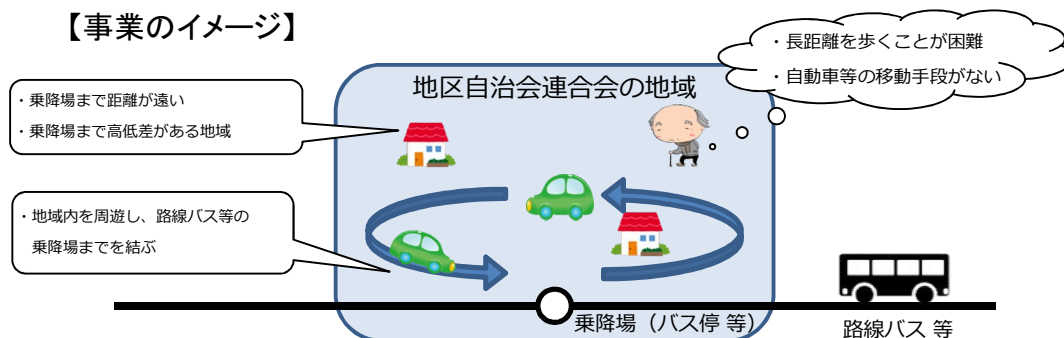
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,000				4,000
前年度予算額	3,800				3,800

目的	地域住民が主体となり、地域で交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保することにより、地域に相応しい持続可能な地域交通の実現及び地域の活性化を図る。
----	---



事業概要	<p>1 事業内容 長距離を歩くことが困難、又は自動車等の移動手段を持たない、持てない、運転できないといった交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、住民が主体となった地域組織の取り組みを支援（3年間を試行期間とするモデル事業。）</p> <p>2 助成の条件 ○公共交通の利用が困難（距離、高低差）な地域であること。 ○運行の範囲が地区自治会連合会等の地域内であること。 ○駐車場や運転者の確保等の地域負担ができること。 ○路線バス等の公共交通の乗降場と結節すること。等</p> <p>3 補助対象者 ○助成の条件を満たす地区自治会連合会等</p> <p>4 平成31（2019）年度の補助対象経費、補助率 ○車両リース代 対象経費の10分の10～8（上限1,000千円） ○運送経費（ガソリン代等）対象経費の10分の10～5（上限1,000千円）</p> <p>5 平成31（2019）年度の助成内容 ○3地区（駒越地区、長田西地区、新規地区1地区想定）</p> <p>（期待される効果） ○日常生活における移動の円滑化による交通弱者の外出機会の創出 ○地域コミュニティの形成、振興や活力、魅力の向上 ○基幹公共交通利用者の増加</p>
------	--

【事業のイメージ】



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-②	南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進									
1	環境局	環境創造課	拡充	南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業	ソフト	21,530		205	69
2	教育局	教育総務課	拡充	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業	ハード ソフト	401,141		206	120
3	建設局	道路保全課	継続	南アルプスエコパーク関連	ハード	46,100			114
4	都市局	交通政策課	継続	井川地区自主運行バス運行事業	ソフト	34,486			104
5	市民局	井川支所	新規	井川湖渡船 船舶及び待合所更改事業	ハード	41,500		207	55
6	建設局	道路計画課 道路保全課	新規	南アルプスユネスコエコパークを活かす道路の整備	ハード	802,600		208	113 114
7	経済局	中山間地振興課	継続	★南アルプス登山道整備事業	ハード	7,000		209	103
8	経済局	中山間地振興課	継続	★地域おこし協力隊配置事業	ソフト	34,222		81	103
9	経済局	中山間地振興課	継続	★中山間地移住促進事業	ソフト	13,000		94	102
10	経済局	治山林道課	継続	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	ソフト	8,966			99
都市の里地・里山機能の保全									
11	都市局	緑地政策課 公園整備課	継続	麻機遊水地関連事業	ハード ソフト	248,000		210	106
12	環境局	環境創造課	継続	放任竹林対策事業	ソフト	9,881		211	69
13	経済局	中山間地振興課	継続	野生鳥獣被害対策事業	ソフト	138,800			103
計						1,807,226			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 669,260

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【拡充】

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業

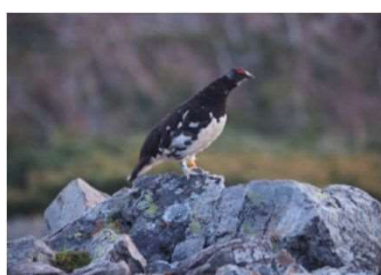
環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	21,530				21,530
前年度予算額	25,559				25,559

目的	ユネスコエコパークの理念「自然と人間社会の共生」に基づき、南アルプスの豊かな自然環境を守り、活用し、その魅力や価値を世界に発信することで、地域の持続的な発展を目指す。
----	---

事業概要	南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）及び同実行計画に基づく事業を推進	
	1 自然環境の保全 ○高山植物保護（防鹿柵の設置等） ○ライチョウ保護（生息域内把握調査）	3,781千円
	2 調査と教育 ○高山植物保護セミナー（8月） ○南アルプス環境調査（動植物調査・植生調査）	11,422千円
	3 地域経済の持続的な発展 ○情報発信、普及啓発（山岳関連イベント出展） ○登録5周年記念事業（6月、11月） 拡充	5,272千円
	4 南アルプスユネスコエコパーク関係自治体との連携に係る経費	1,055千円



ライチョウ生息域内状況把握調査
(夏期：イザルガ岳)



高山植物保護セミナー
(8月：千枚小屋周辺ほか)



山岳関連イベント出展PR
(5月：東京都、6月：名古屋市)



防鹿柵による高山植物保護
(夏期：中岳避難小屋周辺ほか)

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【拡充】

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	401,141		382,100	602	18,439
前年度予算額	23,872		17,280		6,592

目的	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用者数を増やすとともに、地域の振興を促進し、井川地域の活性化を図る。
----	--



事業概要	<p>1 井川のファンづくり 拡充 6,141千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○望月将悟さん監修！トレイルランニングコースの整備・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・山のスペシャリストで井川出身の望月将悟さん監修の下、平成29～30年度に整備した4km・8km、12kmコースに引き続き、トレイルランニングコースを延伸整備 ・トレイルランニングコースを活用し、南アルプス・井川の魅力を広くPR ○南アルプスユネスコエコパーク秋冬満喫ツアーの開催 <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を最大限に活用して、井川の秋と冬の自然を楽しむ送迎バス付きツアーを実施。 <p>2 井川自然の家の改修工事 395,000千円</p> <p>施設の長寿命化及び南アルプスユネスコエコパークの教育拠点としての機能向上に向け、新館宿泊棟・食堂棟の改修を実施。</p>
------	--



井川de望月将悟氏とトレイルランニング



井川de秋満喫の旅

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【新規】

井川湖渡船 船舶及び待合所更改事業

市民局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	41,500		37,300	4,200	
前年度予算額					

目的	観光資源として更なる活用を行い、中山間地域への誘客及び地域活性化に繋げるとともに利用者の安全かつ円滑な水上交通の確保を図る。
----	--



事業概要	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光資源としての更なる活用のため、老朽化した船舶及び待合所の更新を行う。 ○乗客定数を増やすとともに、船上イベントを拡充し、団体客を誘致する。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 平成31（2019）年度～2022年度 ・事業場所 静岡市葵区井川地内 ・事業費 41,500千円 ・事業内容 井川湖渡船（第二聖丸）の更新 井川湖渡船待合所の改築（2020年度以降） <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○井川湖渡船（第二聖丸）の更新 平成31（2019）年度：造船、供用開始 ○井川湖渡船待合所の改築 2021年度：新築工事、供用開始 2022年度：既存施設解体
------	---



第二聖丸
(1981年建造、37年経過)



井川湖畔の紅葉と渡船

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【新規】

南アルプスユネスコエコパークを活かす道路の整備

建設局

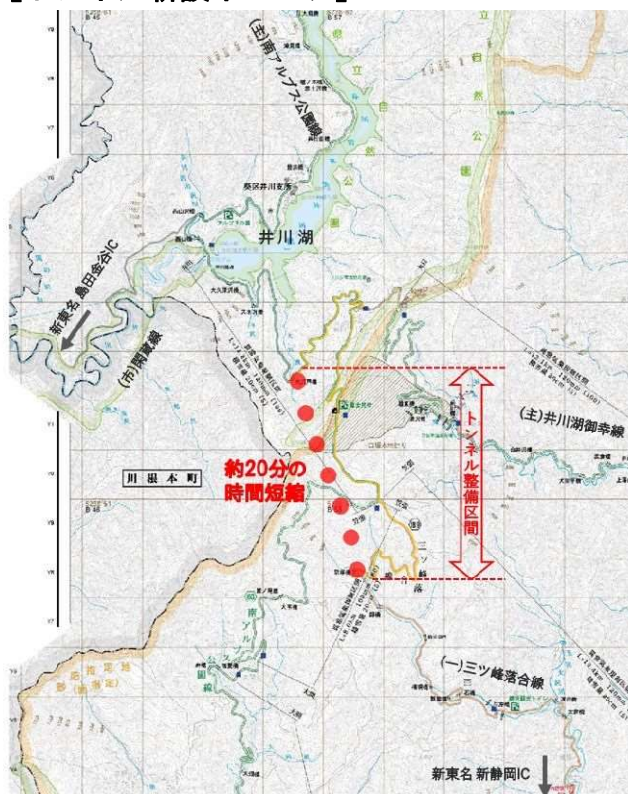
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	802,600	60,675	724,500		17,425
前年度予算額					

目的	しずおか中部連携中枢都市圏を形成する5市2町が連携して南アルプスの地域資源を活用できるように、JR東海と基本合意を交わした県道のトンネル新設や前後区間の道路改良、川根本町に繋がる市道閑蔵線の整備を進めることでアクセス向上を図る。
----	--

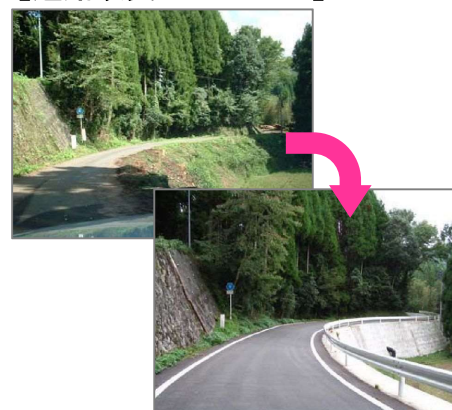
事業概要	<p>南アルプス方面へアクセスする道路について、急カーブが連続する狭い峠道を回避するトンネルの新設や、道路の法面対策、狭い区間の解消をおこなう。</p> <p>○平成31（2019）年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路拡幅等による狭い区間の解消 722,600千円 ・法面対策等による安全確保 80,000千円 ・トンネル整備に向けた関係機関との協議 <p>(期待される効果) 道路走行環境が改善され、人や物の行き来が容易になることで、南アルプス周辺エリアの地域振興につながる。</p>
------	---

【トンネル新設イメージ】※ 整備ルートやイメージは今後変更の可能性があります。



資料提供：JR東海

【道路改良のイメージ】



6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

南アルプス登山道整備事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,000				7,000
前年度予算額	10,000				10,000

目的	ユネスコエコパークの登録により、毎年、多くの登山者が南アルプスを訪れており、登山者の安全確保や、利便性向上を図るため、登山道や山小屋の整備を実施する。
----	---

事業概要	登山道崩壊箇所・山小屋破損箇所の修繕や仮設迂回路の整備 ○畑薙大吊橋～茶臼ルート ○聖岳ルート ○高山裏避難小屋・熊の平小屋修繕 ほか
------	--



登山道崩壊箇所



登山道崩壊箇所



登山道修繕箇所



山小屋修繕箇所

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

放任竹林対策事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,881				9,881
前年度予算額	11,201				11,201

目的	放任竹林の増加により里山の荒廃が進み、景観の悪化、生物多様性の低下などの原因となっているため、放任竹林対策を推進し、里山環境の保全を図る。
----	---

事業概要	<p>1 里山保全団体の支援・育成 3,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○竹林対策整備事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業 … 補助率10/10 (上限200千円) ・利活用事業 … 補助率10/10 (上限100千円) ○竹林対策事業用消耗品等支給事業 <ul style="list-style-type: none"> ・支給品 (軍手、ノコギリなど) 200点以内 <p>2 里山整備竹林対策事業ほか 6,481千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○竹林伐採業務委託 ○竹破碎機の貸出
------	--



竹林伐採委託



竹破碎機の活用



里山保全団体の活動



竹破碎機講習会

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-③	まちづくりは人づくり・シチズンシップ

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
人をつくる仕組みの推進									
1	企画局	企画課	継続	高等教育のあり方検討推進事業	ソフト	5,939	③教育文化	213	49
2	市民局 ほか関係局	生涯学習推進課 ほか関係課	拡充	★「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業	ソフト	19,931	③教育文化	214	52
3	教育局	教育総務課	継続	“学校・地域 ひとつなぎ”人材養成事業 (★「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業)	ソフト	1,665	③教育文化	214	119
人を活かす仕組みの推進									
4	企画局	企画課	継続	大学連携による地域課題解決事業	ソフト	8,050			49
5	市民局	市民自治推進課	継続	「市民活動支援システム」活用推進事業	ソフト	2,865	③教育文化	215	52
6	市民局	市民自治推進課	継続	市民活動促進事業「協働パイロット事業」	ソフト	2,877			52
人を支える基盤づくり									
7	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	6,400	③教育文化	55	106
8	市民局	生涯学習推進課	拡充	生涯学習施設建設等事業	ハード	541,300		216	53
地域コミュニティの強化									
9	市民局	生活安心安全課	拡充	地域の自主防犯力強化事業	ソフト	6,514		217	54
計						595,541			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 739,964

6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

高等教育のあり方検討推進事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,939				5,939
前年度予算額	3,093				3,093

目的	地域振興、地方創生の礎として、地域を担う人材を地域の中で育てるため、多様な視点から本市に求められる高等教育のあり方を検討し、高等教育のあるべき姿とそれに対する方策を明らかにする。
----	---



事業概要	<p>1 静岡市高等教育あり方検討会 平成27年度策定の総合戦略に基づき、これまでに基礎調査、経済界ヒアリング、モデルケース研究などを実施し、平成30年度に高等教育のあり方検討会を立ち上げた。 平成30年度の議論を受けて、本市の高等教育のあるべき姿に対する課題及び方向性について、引き続き有識者から意見聴取し、今後の検討に繋げる。</p> <p>○任 期 平成31年度末まで ○開催回数 6回程度 ○委員数 16名程度 ○検討内容 (案) ・リカレント教育 ・アクティブ・ラーニング ・専門職大学 など</p> <p>2 各種調査等 ○各種調査等（事例調査・情報収集など）を実施する。</p>
------	--

静岡市総合戦略(H27.10策定)

2 「ひと」を育て、まちを活性化する

□中長期の取組

大学進学時に若者が流出している現状を受け、若者の学びの選択肢の拡大、地域社会や生産性向上を目指す企業が必要とする人材の育成、確保を図るための受け皿として、市立大学の設置可能性も含めて高等教育のあり方を検討する。



(高等教育のあり方検討会の様子)

6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【拡充】

「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業

市民局ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10ほか)	市債	その他	
当初予算額	19,931	1,678		1,302	16,951
前年度予算額	26,485	4,205		1,540	20,740

目的	「まちづくりは人づくり」の意識のもと、「構想力(こ)」・「行動力(こ)」・「人間力(に)」を兼ね備えた市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成。
----	--

事業概要	<p>市が実施する人材養成事業を一つに束ねた総合的な学び舎「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」を実施</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各講座実施による人材育成とシチズンシップの醸成 ○公開講座の実施 ○修了生等が一堂に集う交流会の開催 ○静岡まちづくりマスターの認定・研修 拡充 <p>【こ・こ・に講座の構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総合課程・地域リーダーを養成する講座 2講座 ・募集定員 基礎編50人、調査・実践編 20人 2 専門課程・環境、観光、歴史、福祉等の分野別の講座 17講座 拡充 ・募集定員 351人 3 プレ課程・将来地域を担う高校生を対象とした講座 2講座 新規 ・募集定員 35人
------	--



6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

「市民活動支援システム」活用推進事業

市民局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,865				2,865
前年度予算額	3,280				3,280

目的	シチズンシップに富んだ人づくりを目指し、「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の修了生を活かすとともに、市民が自分の住む地域を知り、積極的にまちづくりに関わることのできる情報を提供する。
----	--

事業概要	<p>1 システム内容 2,660千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ここに人材バンク（ここにわネット） <ul style="list-style-type: none"> ・「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」修了生への市政情報提供 ・修了生間の活動内容情報の提供 ○市民活動情報提供（ここからネット） <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体、活動情報を集約し、市民に情報提供（マッピング機能による地域の市民活動情報の表示） <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と修了生とのネットワーク化 ・地域における市民活動団体等の活動内容の可視化 <p>【登録数（2019.1末時点）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開団体数：648（NPO法人:352 市民活動団体等:296） ・イベント情報：207件（累計）
	<p>2 「対話の場づくり」事業 205千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題やテーマを設定し、修了生、市民活動団体、学生等異なる人々が集まり、解決に向けた対話の場を提供



6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【拡充】

生涯学習施設建設等事業

市民局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	541,300	14,539	517,000		9,761
前年度予算額	373,930	37,220	308,800		27,910

目的	市民の自発的な学習活動を支援し、学習活動を通じて地域の交流や連携を深め、市民主体のまちづくり活動を推進する。
----	--

事業概要	1	飯田生涯学習交流館（児童館との複合施設） 160,300千円 内 容：設計、駐車場移設、建設工事 建設場所：清水区下野東 構造：鉄骨造2階建 延床面積：約1,000㎡（交流館：約700㎡ 児童館：約300㎡） 供用開始：2020年度（予定）
	2	辻生涯学習交流館 208,500千円 内 容：耐震補強工事、昇降機設置工事 事業場所：清水区宮代町 構造：鉄筋コンクリート造3階建 延床面積：約1,212㎡ 建設：昭和56年度 工事完了：平成31（2019）年度（予定）
	3	玉川生涯学習交流館 106,900千円 内 容：大規模改修工事 事業場所：葵区落合 構造：鉄筋コンクリート造2階建 延床面積：約499㎡ 建設：昭和61年度 工事完了：平成31（2019）年度（予定）
	4	船越生涯学習交流館 新規 45,500千円 内 容：建設工事設計業務（土木・建築） 建設場所：清水区船越町 構造：鉄骨造2階建 延床面積：約500㎡ 供用開始：2022年度（予定）
	5	折戸生涯学習交流館 新規 20,100千円 内 容：耐震補強工事、昇降機設置工事設計業務 事業場所：清水区折戸 構造：鉄筋コンクリート造2階建 延床面積：約802㎡ 建設：昭和55年度 工事完了：2020年度（予定）



三保生涯学習交流館（三保羽衣児童館併設）
平成30年9月供用開始

6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【拡充】



地域の自主防犯力強化事業

市民局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,514				6,514
前年度予算額	6,000				6,000

目的	犯罪等に強いまちづくり基本計画に基づき、「防犯意識の高い人づくり」と「防犯力の高い地域づくり」を推進し、安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指す。
----	--

事業概要	<p>1 街頭防犯カメラ設置費補助金 6,000千円 街頭防犯カメラの設置に必要な経費を補助する。 ○交付先 自治会、町内会及び地区安全会議 ○補助対象 ・街頭防犯カメラ、録画装置機器等の購入経費、設置工事経費 ・街頭防犯カメラの設置を示す看板製作経費、設置工事経費 補助率 10分の9 補助上限額 1台あたり30万円（1団体2台まで） 補助予定台数 20台</p>	
	<p>2 子どもの体験型防犯講座の実施 新規 514千円 小学生を対象とした体験型防犯講座を開催する。 ○講師：静岡県防犯アドバイザー協会 ○内容：犯罪に遭わないための知識の習得 犯罪に遭遇したときに自分の身を守る方法の習得</p>	

補助金を活用して設置した街頭防犯カメラ

子どもの体験型防犯講座の様子

【その他関連事業】

- 通話録音装置等購入費補助金交付事業 **拡充** 6,274千円
 65歳以上の高齢者を対象に、強引な電話勧誘や、特殊詐欺などの防止に効果が見込まれる通話録音装置・着信拒否装置等の購入に補助金を交付する。
- 「ながら見守り」の推進 **新規**
 ウォーキング、ジョギング、買物、犬の散歩、花の水やり等の日常活動を行う際、防犯の視点を持って見守りを行う「ながら見守り」を推進する。